

令和7年度

開発地給水事業ほか

八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)

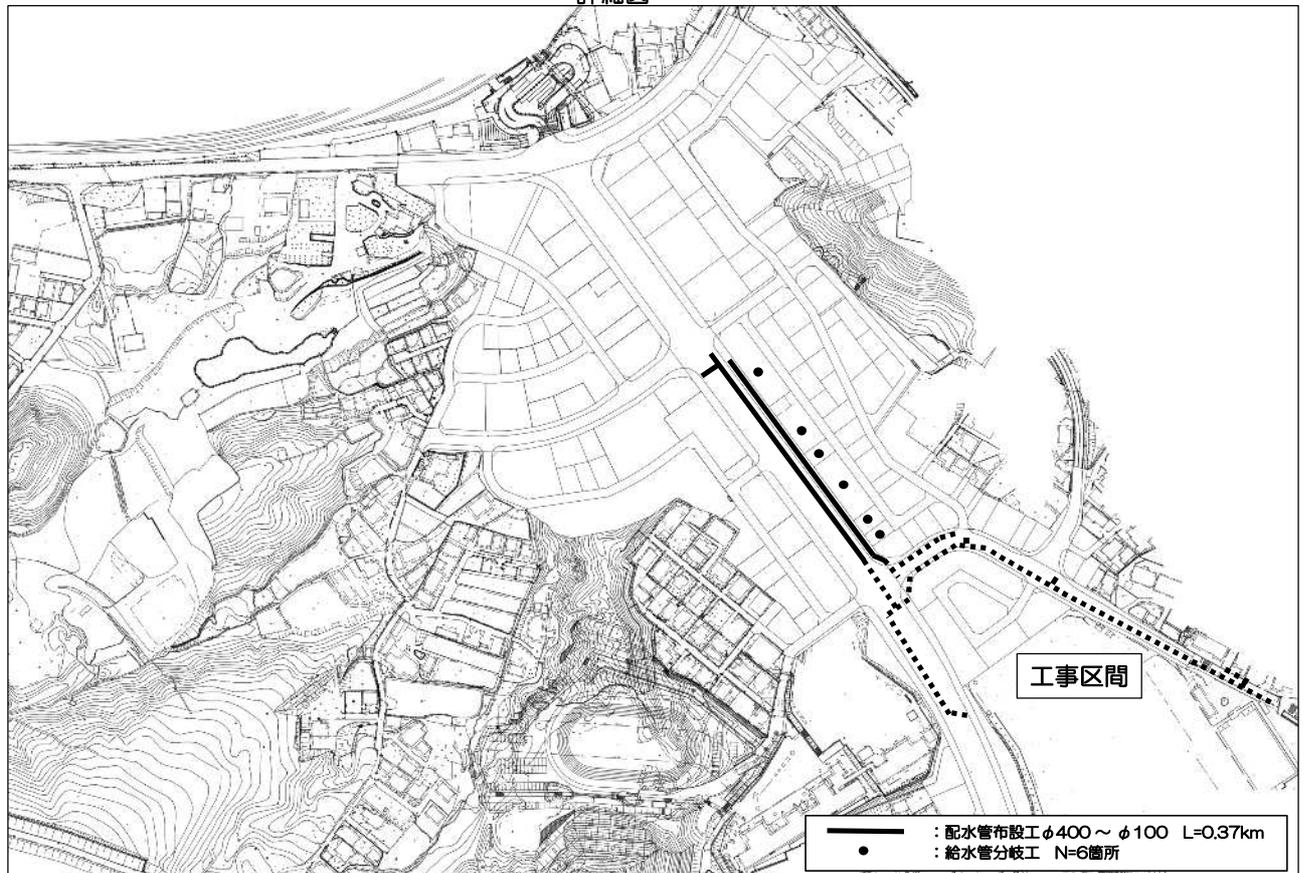
仕様書

工事場所 東広島市八本松町飯田、原

令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事（2工区） 位置図



詳細図



# 特記仕様書

(八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事 (2工区) )

## 第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 債務負担
4. 現場代理人の兼務
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム (受注者希望型)
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 配管従事者の条件等

## 第2章 工事材料

1. 使用材料

## 第3章 施工条件

1. 工程
  - (1) 関連する別途工事
  - (2) 関係機関との協議
2. 安全対策
  - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
  - (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 盛土・埋戻土
  - (1) 流用土(工事内流用)
  - (2) 購入土(搬入)(新材料)(真砂土)
4. 建設副産物
  - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地)
  - (2) アスファルト殻(搬出)
  - (3) 建設汚泥(搬出)
5. 工事支障物件
  - (1) 地下・地上障害物
6. その他
  - (1) 支給・貸与品
  - (2) 部分使用
  - (3) 工事中の安全確保
  - (4) 施工時期及び施工時間の変更
  - (5) 水圧試験
  - (6) 工事の施工について【配水管】
  - (7) 工事の施工について【給水管 (水道用ポリエチレン二層管)】
  - (8) 水道技術管理補助者検査について

## 第4章 施工管理

1. 出来形管理
  - (1) 出来形管理報告
2. 品質管理
  - (1) 品質管理報告

第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 提出書類

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 水道編については広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき施工管理するものとする。
- (2) 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (3) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (4) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (5) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (6) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (7) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (8) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (9) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (10) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (11) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (12) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (13) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (14) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者 又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から [7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。

3	1	2	5	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	6	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

## 2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

## 3. 債務負担

各会計年度における請負代金の支払い限度額は次のとおりとする。

令和7年度 請負代金額の40%

令和8年度 残額

出来高予定額

令和7年度 0円

令和8年度 残額

発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、支払い限度額及び出来高予定額を変更することができる。

支払い方法について、次のとおりとする。

前金払い 請求可

契約会計年度において契約会計年度及び翌会計年度の出来高予定額の40%を請求できるものとする。なお、余裕期間制度適用工事においては「契約会計年度」を「工期の始期の属する年度」とする。

中間前金払・部分払い

契約約款特約事項22項により、契約締結時にいずれかを選択するものとする。ただし、本工事は、契約年度における部分払いはできない。

## 4. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
  - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
  - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
  - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
  - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
  - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
  - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請

負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

## 5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

## 6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

## 7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。  
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）  
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

## 8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。  
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

(7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。  
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値 (%)＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

(8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

(9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

広島県水道広域連合企業団東広島事務所発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画(5の確認結果票を含む)を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

#### 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

#### 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m<sup>3</sup>以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

#### 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

#### 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

#### 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

#### 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

#### 11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

#### 12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先へ

の搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

### 13. 配管従事者の条件等

- 1 GX形ダクタイル鋳鉄管の配管従事者は、(公社)日本水道協会（以下「日水協」という。）の小口径管講習会（講習会I）を2014年(平成26年)4月1日以降に修了して「配水管技能者登録証（一般継手・耐震継手）」を取得した者、又は（一社）日本ダクタイル鉄管協会（以下「JDPA」という。）のJDPA継手接合研修会（耐震管φ450以下）を受講して、「JDPA継手接合研修会受講証（耐震管φ450以下）」を取得した者とし、上記の登録証又は受講証の写しを提出すること。
- 2 水道配水用ポリエチレン管の配管従事者は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会（以下「POLITEC」という。）による「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」を有する者とし、POLITECによる「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」の写しを提出すること。
- 3 耐震補強金具取付従事者は、(公社)日本水道協会（以下「日水協」という。）の小口径管講習会（講習会I）を2014年(平成26年)4月1日以降に修了して「配水管技能者登録証（一般継手・耐震継手）」を取得した者、又は（一社）日本ダクタイル鉄管協会（以下「JDPA」という。）のJDPA継手接合研修会（耐震管φ450以下）を受講して、「JDPA継手接合研修会受講証（耐震管φ450以下）」を取得した者とし、上記の登録証又は受講証の写しを提出すること。ただし、フランジ耐震補強金具の取付工についてはこの限りではない。

## 第2章 工事材料

### 1. 使用材料

- (1) 一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	プレキャスト製品	製造1年未満	
	塗料その他	同上	
配管材料	ダクタイル鋳鉄管	同上	
	ポリエチレン管	同上	
	塩化ビニル管	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ボルト・ナット・パッキン
	管付属品	同上	ポリスリーブ・ロケティングワイヤー・管明示テープ
	ボックス類	同上	

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。

なお、上記により難しい場合に、(公社)日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

- (2) ダクタイル鋳鉄管の直管、異形管及び鋳鉄継手は、内面エポキシ樹脂粉体塗装品とすること。なお鋳鉄継手は、離脱防止金具付きとすること。
- (3) φ400以下の仕切弁は、ソフトシール仕切弁とし、φ450以上の仕切弁については、軽トルク・内面粉体塗装のバタフライ弁とする。
- (4) 消火栓は、FCD・内外面粉体塗装・軽トルク・グランドレス・口金ステンレス製とし、キーキャップの高さは道路天より11～20cm下がりとなるようにフランジ短管等により調整すること。
- (5) 空気弁は、急速空気弁(φ20またはφ25)・FCD・内外面粉体塗装とし、空気弁のカバーの高さは道路天より11～20cm下がりとなるようにフランジ短管等により調整すること。

なお、空気弁は水平（許容傾斜角度2°以内）に据え付けること。

やむを得ない現場条件により許容傾斜角度を超える場合は、製造会社の保証する傾斜角度以内で据え付けることができるものとする。なお、保証傾斜角度が確認できる傾斜作動試験等の成績証

明書を提出すること。

- (6) 補修弁は、FCD・内外面粉体塗装・RF-GF形・ボール式・右開・面間寸法を100mm又は150mmとする。
- (7) 仕切弁・消火栓・空気弁・空気弁付消火栓のボックスについては、広島県水道広域連合企業団東広島事務所認定の「東広島市型」とし、型式は広島県水道広域連合企業団東広島事務所に問い合わせること。  
調整リングの材質については、レジンコンクリート製（日水協検査品）を標準としているが、樹脂製又は鋳鉄製によるものの使用についても承諾する。
- (8) フランジ継手工は、緩み防止のため、ボルト、ナットにワッシャ（平座金）を取り付けること。  
なお、フランジ継手材の材質については、以下のとおりとするが、原則RF-GF形とする。
  - ・フランジ用パッキン(RF-RF)は、凸部付きパッキン(日水協検査品)とする。
  - ・フランジ用パッキン(RF-GF)は、GF形ガスケット1号(JIS G 5527)とする。
  - ・フランジ用ボルト、ナット及びワッシャは、SUS製とする。なお、ボルト又はナットのねじ部に焼き付き防止処理を施したものを使用しなければならない。
- (9) 仕切弁は原則、右回り開とするが黒瀬町内に設置する仕切弁についてのみ左回り開とする。
- (10) ポリエチレンスリーブについては、本工事では日本水道協会認定品で設計しており、実際の使用材料がこれによらない場合は事前に監督職員と協議を行うこと。

### 第3章 施工条件

#### 1. 工程

##### (1) 関連する別途工事

工事名	令和6年度 八本松駅前土地区画整理事業 八本松駅前造成工事 (6-2)
影響箇所	全区間
他工事の内容	造成工事
時期	令和8年3月～令和8年7月

##### (2) 関係機関との協議

協議内容	造成工事に伴う工事着手時期の調整
範囲	全区間

#### 2. 安全対策

##### (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から25日間(2人/日)を見込んでいます。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

##### (2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。  
架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。  
設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

#### 3. 盛土・埋戻土

##### (1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、 199m<sup>3</sup>(地山土量) については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

##### (2) 購入土(搬入)(真砂土)

本工事では、 156m<sup>3</sup>(ほぐし) の真砂土購入を見込んでいる。

#### 4. 建設副産物

##### (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合

計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称) カワモトリサイクルセンター  
(所在地) 東広島市志和町内字塚土山10001  
(運搬距離) 8.6 km

## (2) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 5.1 km を見込んでいる。

## (3) 建設汚泥(搬出)

- ・舗装の切断作業時に発生する排水(汚泥)は、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理しなければならない。
- ・舗装の切断作業時に発生する排水 1m<sup>3</sup> は、建設汚泥として、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。なお、搬出先は、運搬費と受入費の合計が最も安価になる施設を見込んでおり、設計変更の対象としない。  
また、運搬距離は 12.7 km を見込んでいる。
- ・受注者は、舗装の切断作業時に発生した排水の委託処理に関する契約書の写しを提出すること。また、工事完成後、速やかに本工事の工事名を記載して交付したマニフェストの写しを監督員に提出すること。ただし、アスファルトコア採取の排水については、受注者において適正に管理するものとし、提出は求めない。
- ・実施数量は、次の計算式又はマニフェストの実績の少ない方で契約変更するものとする。  
計算式 排水量 $V=0.023 \times t \times L$  (t:舗装厚(m)、L:切断延長(m))

※舗装版の種類は、アスファルト及びコンクリートを問わない。

なお、適正な処理の実施に際して、排水を脱水処理することができる場合等は、協議の上、当該排水の運搬処理費の削除等について契約変更できるものとする。

## 5. 工事支障物件

### (1) 地下・地上障害物

支障物件名 ①既設水道管 ②NTTケーブル ③下水道管  
管理者 ①東広島事務所 維持課 ②NTT ③下水道部下水道施設課  
位置 全路線  
移設時期 移設は行わない。  
工事方法 開削工法  
防護方法 掘削範囲内で露出する場合、事前連絡し、防護方法を確認すること。  
また、着工前に状況が確認できる写真を撮影しておくこと。

## 6. その他

### (1) 支給・貸与品

次のとおり支給品を使用すること。

品名 空気弁ボックス  
数量 H=650 1組  
品質 工事現場発成品  
引渡し場所 東広島事務所、又は工事ヤード  
引渡し時期 監督員と協議の上、決定する。

### (2) 部分使用

本工事においては、通水試験(水圧試験)及び水道技術管理補助者の検査に合格後、部分的に使用したいので使用できる状態とすること。

(3) 工事中の安全確保

地下埋設物等の調査結果、必要であれば監督職員と協議の上、試掘を行い、地下埋設物の位置等を確認すること。試掘調査の結果、地下埋設物件等が支障となる場合は、対応方法について監督職員と協議すること。

(4) 施工時期及び施工時間の変更

休日・夜間作業届については、FAX・メール・工程会議等で、監督職員・請負者双方が、「作業日及び作業時間」「作業場所」「作業理由」「作業内容」について把握していれば、改めて提出しなくてよいものとする。

(5) 水圧試験

本工事において、監督職員が指示する期日までに以下の通水試験（水圧試験）を行い合格すること。

・水道配水用ポリエチレン管

管路の水圧を0.75MPaに上昇させ、5分間放置する。

5分間放置後、水圧を0.75MPaまで再加圧する。

再加圧後、すぐに水圧を0.50MPaまで減圧し、そのまま放置する。

放置してから、24時間後の水圧が0.30MPa以上であること（PEPの場合）

・ダグタイル鋳鉄管

管路の水圧を設計水圧1.08MPaまで上昇させ、そのまま放置し24時間後の水圧が95%以上あること。

・水道用ポリエチレン二層管（1種）

予圧として、管路の水圧を0.75MPaに上昇して、3分間以上保持する。次に、管路の水圧を

0.75MPaに上昇させ、10分間放置する。放置してから10分後の水圧が0.60MPa以上（圧力低下率20%以内）であること。

(6) 工事の施工について【配水管】

①工事着手前に近隣住民に工事の通知を行うこと。また、施工にあたっては道路使用の許可条件を遵守し、工事看板等の安全施設を設置すること。

②配水管と他の構造物との離隔は、布設の管種・口径に関わらず、管外面から地下埋設物外面間の離隔を交差・並列ともに、離隔を30cm以上確保することとし、離隔を30cm以上確保できない場合には、監督職員と協議すること。

③施工時に現場と設計に相違があることが判明した場合は、監督職員に報告し、指示を仰ぐこと。また、設計変更が生じる場合は、監督職員と協議すること。

④床付面に岩石、コンクリート塊等の支障物が出た場合は床付面より10cm以上取り除き、砂等に置き換えること。

⑤仮復旧は管布設後、当日中に施工すること。

⑥工事の施工範囲内に境界標等が設置されていないか事前調査を行い、その結果を現地調査報告書に合わせて監督職員へ報告すること。また、工事の施工により境界標等へ影響が生じる場合は、その復元方法等を監督職員と協議すること。

⑦現場発生品は清掃及び切管部及び損傷部の補修をした後、監督職員の指示する場所に納品すること。

⑧管理設シートは、極力切断せずに埋設すること。やむを得ず切断した場合は、1m以上重ね合わせること。

⑨ポリエチレンスリーブは土中でのダグタイル鋳鉄管の腐食に対するものであるため、接続部については継手部の凹凸等になじむようにたまるませて確実に重ね合わせること。

(7) 工事の施工について【給水管（水道用ポリエチレン二層管）】

①給水管分岐替工は広島県水道広域連合企業団指定給水装置工事事業者の指定を受けている者で施工すること。

②受注者は、広島県水道広域連合企業団東広島事務所が貸与する給水装置工事竣工図等により、現地で既設止水栓の位置を確認、分岐替位置について検討し工事を行うこと。

③受注者は給水管分岐替工事施工前に、水道使用者へ対し、施工予定日、断水時間等を説明すること。また、施工後においても水道使用者へ工事完了の通知を行うこと。

④受注者は、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼす可能性がある場合や既設構造物にクラックや破損等の異変がある場合は、着手前の状況を記録し、写真撮影等を行い記録しておくこと。

⑤受注者は、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼさないよう細心の注意をして施工すること。

⑥受注者は、現場状況により、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼす可能性がある場合や既設

構造物にクラックや破損等の異変がある場合は、着手前の状況を記録し、写真撮影等を行い記録しておくこと。

- ⑦給水管分岐替工の写真管理（給水管布設完了、本管分岐位置、水圧試験、切片確認、コア挿入前後（DIPの場合）、防食フィルム取付完了）については全箇所行うこと。また、給水管布設状況、穿孔状況、土工一連写真については10箇所に1箇所の割合で撮影すること。
  - ⑧給水管洗管状況は5箇所に1箇所の割合で写真撮影を行い、その他は広島県水道広域連合企業団東広島事務所が定める「給水管分岐替工チェックリスト」により確認を行うこと。
  - ⑨給水管分岐替工の水圧試験は、給水装置の分岐位置から新設する給水管を含めて行うこと。
  - ⑩給水管分岐替において、分岐替え作業後、量水器を取外して十分洗管し、濁り・切粉・ゴミが無いことを確認すること。また出水不足等の苦情があった場合は、受注者の責により速やかに対応すること。
- (8) 水道技術管理補助者検査について
- ①給水管分岐替工等で、管路の部分使用（配水開始）をする場合、原則として事前に通水試験（水圧試験）及び水道技術管理補助者検査に合格すること。
  - ②設計図書以外の給水分岐工事に着手する際は、原則として事前に通水試験（水圧試験）及び水道技術管理補助者検査に合格すること。
  - ③工事が完成した時は、水道技術管理補助者による検査を受検すること。

## 第4章 施工管理

### 1. 出来形管理

#### (1) 出来形管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、出来形管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表を提出すること。

### 2. 品質管理

#### (1) 品質管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。

## 第5章 その他

### 1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

### 2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、1部とする。

耐震補強継手工の写真管理に関する工種・撮影項目・撮影頻度等は次のとおりとする。

(区分)	(工種)	(撮影項目・頻度)
	フランジ耐震補強金具取付工	フランジ耐震補強金具取付状況・・・全箇所
	フランジ耐震補強金具取付工	トルクレンチ締付状況・・・10箇所に1箇所
	フランジ耐震補強金具取付工	フランジ耐震補強金具取付完了・・・全箇所
	フランジ耐震補強金具取付工	ポリスリーブ被覆工・・・全箇所
	補修弁用フランジ耐震補強金具取付工	補修弁用フランジ耐震補強金具取付状況・・・全箇所
	補修弁用フランジ耐震補強金具取付工	トルクレンチ締付状況・・・10箇所に1箇所
	補修弁用フランジ耐震補強金具取付工	補修弁用フランジ耐震補強金具取付完了・・・全箇所

### 3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

#### 4. 提出書類

- (1) 第1編 1-1-1-2 第15～21項については、工事打合せ簿で行うものとする。
- (2) 工事日報は広島県水道広域連合企業団東広島事務所仕様とし、週ごとに施工した部分を翌週に提出すること。  
工事日報の提出にあたっては、施工部分の継手チェックシートを添付すること。  
なお、工事日報及び継手チェックシートには任意のNoを設け相互にリンクさせること。
- (3) 最初の測点で撮影した土工及び管布設工の写真を仮工事写真として施工後、速やかに提出し、監督職員の確認を受けること。
- (4) 納品書（写し）又は出荷証明書（原本）は集計表を添付して提出すること。
- (5) 広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づき、出来形管理並びに品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表、品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。また、横断図には占用位置として、官民境界又は構造物からの離隔を記入すること。
- (6) 竣工図は工事日報とあわせて、順次作成を行い現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、横断図は測点ごとに作成し、延長が50m未満の場合は、監督職員が指示する箇所において作成すること。
- (7) 工事写真は広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づいて写真管理を行い、現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、土工関連写真と本管布設位置及び管布設関連写真は分冊として提出すること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
配水管布設工		式	1	レベル1
400 管布設工 (DIP)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	350	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装厚10cm以下	m2	160	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホ 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 再生切込碎石	m2	164	レベル4
上層路盤	仕上り厚20cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調碎石	m2	164	レベル4
殻運搬処理 (As)	バックホ 排出対策型 As(2.35)	m3	9	レベル4
発生土処理	バックホ 排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
舗装本復旧工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	350	レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部)】	瀝青安定処理5cm As(2.35)	m2	164	レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】	瀝青安定処理5cm As(2.35)	m2	52	レベル4
舗装本復旧工【基層復旧】	基層5cm+瀝青安定処理4cm 再生粗粒20+瀝青安定処理4cm、As(2.35)	m2	519	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
400 管布設工 (DIP)		式	1	レベル3
ダクティル鋳鉄管(直管)	GX形 S種 400×6000 内面粉体塗装	本	28	レベル4
ダクティル鋳鉄管(直管)	GX形 1種 400×6000 内面粉体塗装	本	1	レベル4
二受T字管	GX形 400×300	個	1	レベル4
ライナ	GX形 400 ライボート含む	個	4	レベル4
切管用挿し口リング	GX形 400 タッピンねじタイプ	個	2	レベル4
接合セット	GX形 400	個	1	レベル4
鋳鉄管据付工	400	m	172.5	レベル4
G X 形継手接合工	直管 呼び径400mm	口	29	レベル4
G X 形継手接合工	異形管 呼び径400mm	口	1	レベル4
栓取付工	GX形 400	口	1	レベル4
栓取外し工	GX形 400	口	1	レベル4
鋳鉄管切断溝切り加工工 ( G X 形 )	タッピンねじ式専用工具 切断・溝切り 2 工程 呼び径: 400mm	口	2	レベル4
G X 形継手挿口加工工	タッピンねじ式 呼び径400mm	口	2	レベル4
仕切弁設置工	400-GX両受-1.2【材工共】 東広島市型	箇所	1	レベル4
ホリエルンスリーブ被覆工	400【材工共】	m	173	レベル4
吹付インサレーション工	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	173	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】	m	173	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
150 管布設工 ( PEP )		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	39	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装厚10cm以下	m2	12	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホ 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 再生切込碎石	m2	12	レベル4
上層路盤	仕上り厚20cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調碎石	m2	12	レベル4
殻運搬処理 ( As )	バックホ 排出対策型 As(2.35)	m3	1	レベル4
発生土処理	バックホ 排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
舗装本復旧工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	39	レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部)】	瀝青安定処理5cm As(2.35)	m2	12	レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】	瀝青安定処理5cm As(2.35)	m2	6	レベル4
舗装本復旧工【基層復旧】	基層5cm+瀝青安定処理4cm 再生粗粒20+瀝青安定処理4cm、As(2.35)	m2	59	レベル4
150 管布設工 ( PEP )		式	1	レベル3
水道配水用ポリエチレン管(EF受口付直管)	PEP 150×5000	本	3	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
EF両受チース	PEP 150× 150	個	1	レベル4
EFソケット	PEP 150	個	4	レベル4
異種管継手	150 GX-PEP型	個	1	レベル4
挿し受片落管	GX形 300× 150	個	1	レベル4
メカニカルキャップ	150 PEP用 インナー無し	個	1	レベル4
接合セット	GX形 300	個	1	レベル4
接合セット	GX形 150	個	1	レベル4
管明示粘着テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	m	18.1	レベル4
ポリエチレン管据付工	150	m	15	レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工	150	□	13	レベル4
ポリエチレン管切断工	150	□	3	レベル4
鋳鉄管据付工	150	m	1.6	レベル4
G X 形継手接合工	異形管 呼び径300mm	□	1	レベル4
G X 形継手接合工	異形管 呼び径150mm	□	1	レベル4
ポリエチレン管メカニカル継手工	150	□	1	レベル4
仕切弁設置工	150-PE両挿-1.2【材工共】 東広島市型	箇所	3	レベル4
ポリエチレンテープ被覆工	150【材工共】	m	5.6	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	19.7	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】	m	19.7	レベル4
100 管布設工 ( PEP )		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削	ハック杓 排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	ハック杓 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	ハック杓 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
発生土処理	ハック杓 排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
100 管布設工 ( PEP )		式	1	レベル3
水道配水用ポリエチレン管(EF受口付直管)	PEP 100×5000	本	34	レベル4
EF片受バンド	PEP 100×45°	個	1	レベル4
EF片受バンド	PEP 100×22°1/2	個	1	レベル4
EF両受バンド	PEP 100×22°1/2	個	1	レベル4
EF両受チーズ	PEP 100×50	個	1	レベル4
EFソケット	100	個	3	レベル4
管明示粘着テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	m	174.1	レベル4
ポリエチレン管据付工	100	m	173.3	レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工	100	口	46	レベル4
ポリエチレン管切断工	100	口	5	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ポリエチレン管メカニカル継手取外し工	100	口	1	レベル4
仕切弁設置工	100-PE両挿-1.2【材工共】 東広島市型	箇所	1	レベル4
空気弁設置工	100-PE両挿-0.8(耐震補強金具含む)【材工共】 東広島市型	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX撤去工	高さ 0.65 東広島市型	箇所	1	レベル4
ホリフレックスリブ被覆工	100【材工共】	m	3	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	174.1	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】	m	174.1	レベル4
消火栓設置工( 100)		式	1	レベル2
消火栓設置工( 100)		式	1	レベル3
消火栓設置工	100-PE両挿-1.2(耐震補強金具含む)【材工共】 東広島市型	箇所	1	レベル4
仮設排水管設置工(本管 150- 100)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削	ハック杓 排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	ハック杓 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	ハック杓 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
発生土処理	ハック杓 排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
排水管設置工(HIVP)		式	1	レベル3
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP 100	m	1.6	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
エルボ	HIVP 100	個	1	レベル4
キャップ	HIVP 100	個	1	レベル4
メカニカルソケット	150×100 PEP×VP インナーコア無し	個	1	レベル4
塩ビ管据付工	100	m	1.6	レベル4
塩ビ管(TS)継手工	100	口	2	レベル4
硬質塩化ビニル管切断工	100	口	2	レベル4
ポリエチレン管メカニカル継手工	150	口	1	レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形)	100	口	1	レベル4
仕切弁BOX設置工	500 高さ 0.65 東広島市型	箇所	1	レベル4
ホリシリンダー被覆工	150【材工共】	m	1	レベル4
排水管設置工(本管 100- 50)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	3	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装厚10cm以下	m2	1	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホ 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 再生切込碎石	m2	1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
上層路盤	仕上り厚20cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調碎石	m2	1	レベル4
殻運搬処理 (As)	バックホウ 排出対策型 As(2.15)	m3	0.04	レベル4
発生土処理	バックホウ 排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
舗装本復旧工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	3	レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部)】	瀝青安定処理5cm As(2.35)	m2	1	レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】	瀝青安定処理5cm As(2.35)	m2	0.4	レベル4
排水管設置工 (HIVP)		式	1	レベル3
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP 50	m	4.4	レベル4
エルボ	HIVP 50	個	4	レベル4
EFソケット	PEP 50	個	1	レベル4
メカニカルソケット	50 PEP x VP インナーコア無し	個	1	レベル4
管明示粘着テープ	巾5cm x 20m t=0.20mm程度 地色:青色, 文字色:白色, 施工年度明示	m	5.4	レベル4
塩ビ管据付工	50	m	4.4	レベル4
塩ビ管 (TS) 継手工	50	□	7	レベル4
硬質塩化ビニル管切断工	50	□	4	レベル4
ポリエチレン管据付工	50	m	0.3	レベル4
ポリエチレン管 (融着接合) 継手工	50	□	2	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
ポリエチレン管メカニカル継手工	50	□	2	レベル4
鋳鉄継手工（メカニカル形）	50	□	1	レベル4
仕切弁設置工	50-PE両挿-1.2【材工共】 東広島市型	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX設置工	高さ 0.65 東広島市型	箇所	1	レベル4
ホリシリンブ被覆工	50【材工共】	m	3	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径 4.4mm【材工共】	m	5.4	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】	m	4	レベル4
コンクリート取壊し復旧工		箇所	1	レベル4
給水管布設工（本管 100）		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホ 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
発生土処理	バックホ 排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
給水管布設工（PE）		式	1	レベル3
水道用ホリシリン管	PE 40	m	25.8	レベル4
鋳鉄製外ル分水栓（ホ-ル式）	100× 40（PEP用）	組	6	レベル4
分・止水栓用継手	40（WSA規格） JIS外径準拠	個	6	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
PEエルボ	40 ( WSA規格 ) JIS外径準拠	個	24	レベル4
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP 40	m	4.8	レベル4
HIソケット	HIVP 40	個	6	レベル4
HIエルボ	HIVP 40	個	6	レベル4
HIキャップ	HIVP 40	個	6	レベル4
ポリエチレン管据付工	40	m	25.8	レベル4
分水栓建込工	100 × 40 ポリエチレン管	箇所	6	レベル4
ポリエチレン管継手工	40	口	54	レベル4
ポリエチレン管切断工	40	口	30	レベル4
青銅仕切弁設置工	40 【材工共】 東広島市型	箇所	6	レベル4
塩ビ管据付工	40	m	4.8	レベル4
塩ビ管 ( T S ) 継手工	40	口	24	レベル4
硬質塩化ビニル管切断工	40	口	12	レベル4
吹-ティングワヤ-設置工	被覆外径 4.4mm 【材工共】	m	25.8	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式 【材工共】	m	16.8	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル2
排水処理		式	1	レベル3
舗装版切断排水処理	汚泥吸排車	m3	1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
交通管理工		式	1	レベル2
交通誘導警備員		式	1	レベル3
交通誘導警備員B		人	50	レベル4
直接工事費				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
各種試験		式	1	レベル4
共通仮設費率分額				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格計 **				
** 消費税相当額計 **				



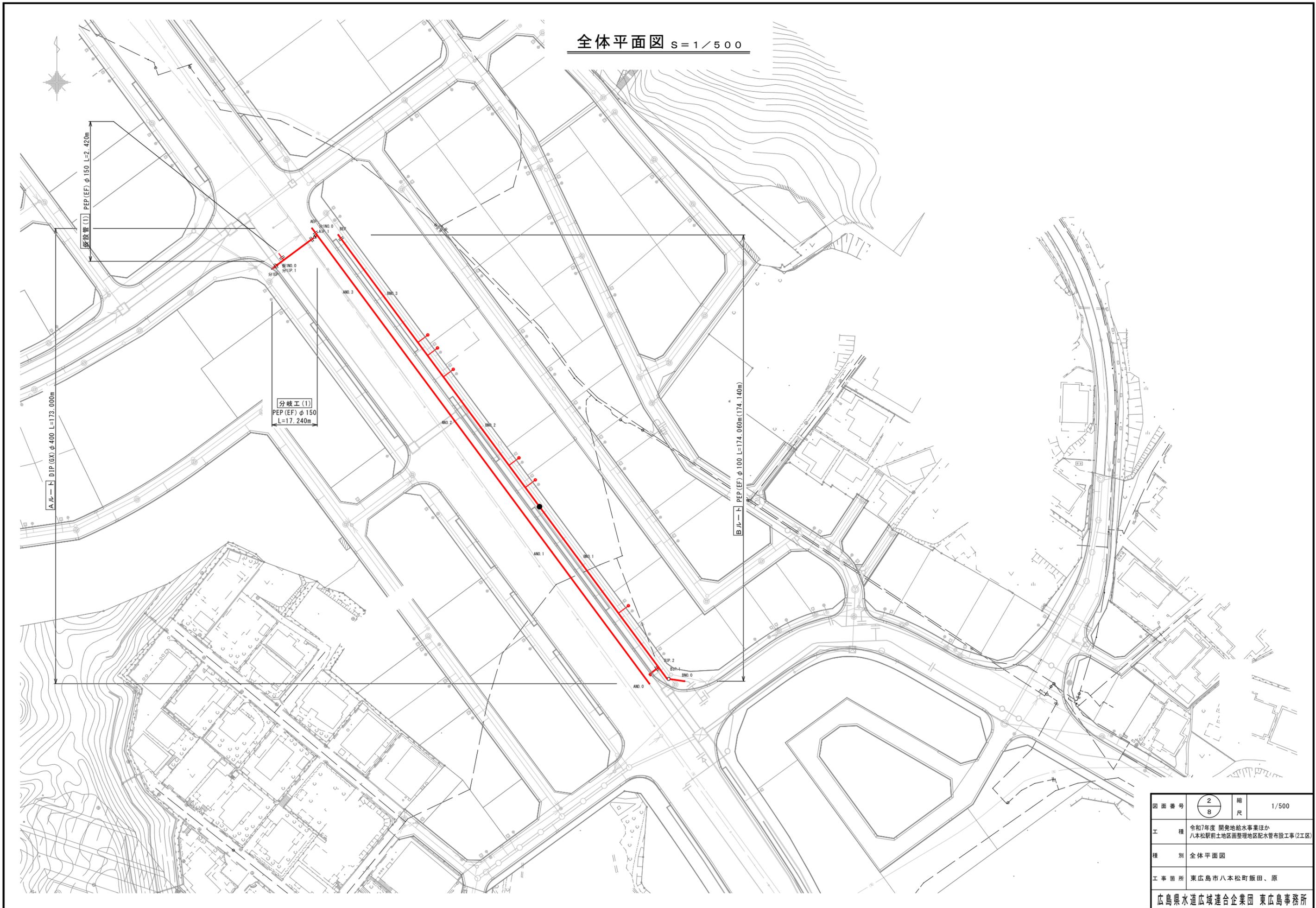
位置図 S=1/2500

施工箇所

工事内容				
名称	口径	管種	延長	備考
管布設工事	400mm	DIP(GX)	173.0m	←→
	150mm	PEP(EF)	19.7m	↔
	100mm	PEP(EF)	174.1m	- · -
消火栓	配水管口径 φ100		1基	●

図面番号	1 8	縮尺	1/2500
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	位置図		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

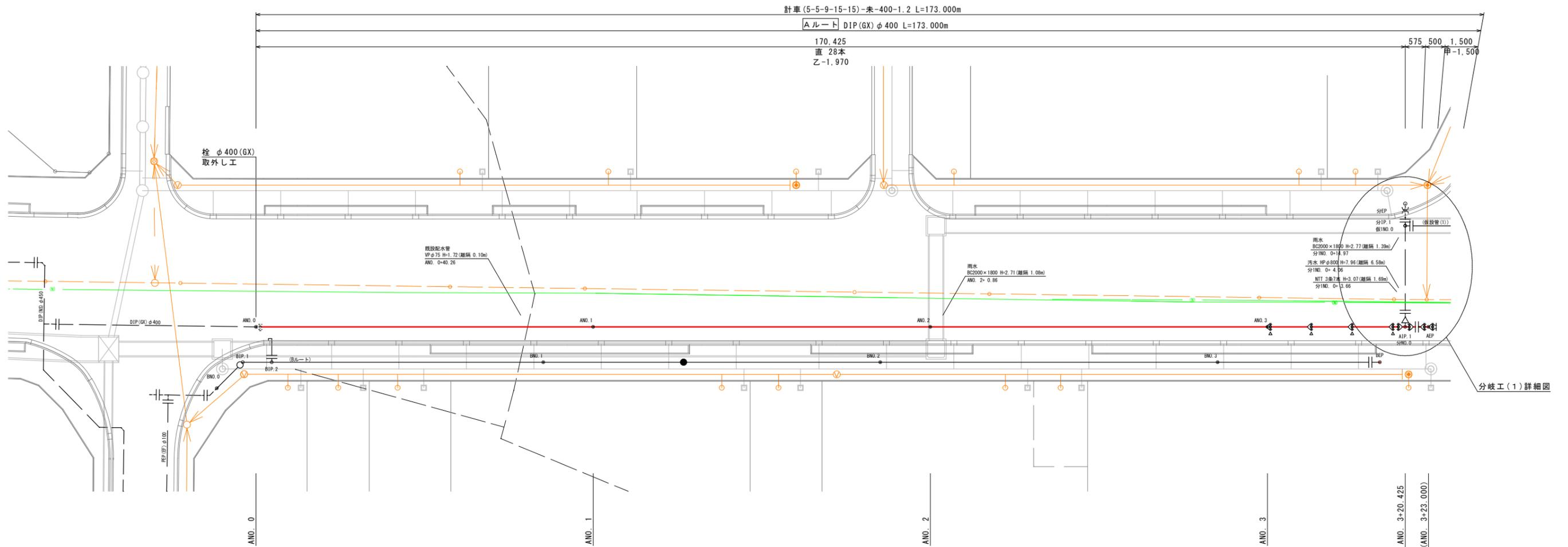
全体平面図 s=1/500



図面番号	2 8	縮尺	1/500
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	全体平面図		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

平面図(1) s=1/300  
(Aルート)

仕切弁設置工(400-GX両受-1.2)  
ANO. 3+21.250



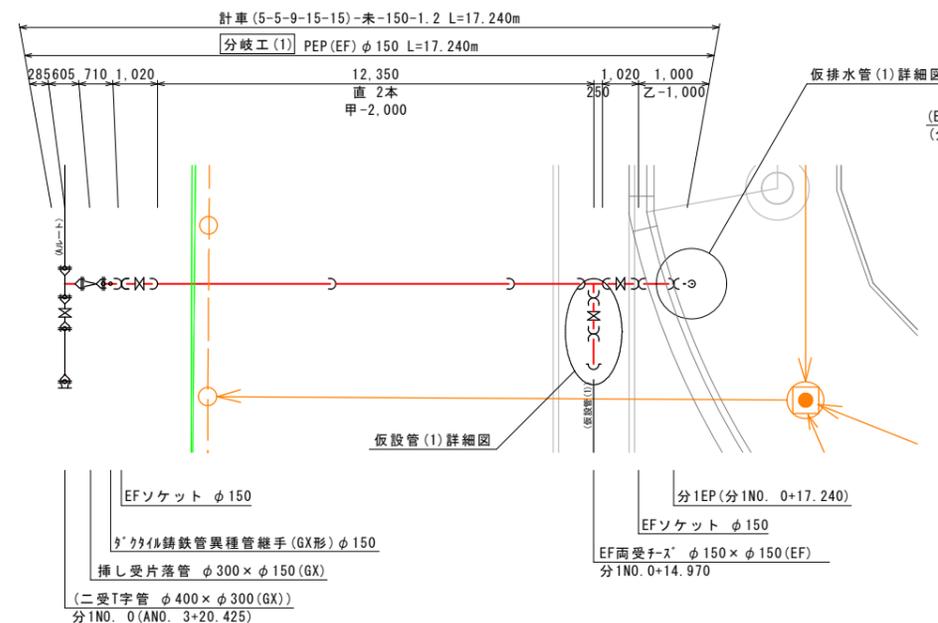
分岐工(1)詳細図 s=1/100

仕切弁設置工(150-PE両挿-1.2)  
分1NO.0+2.110

仕切弁設置工(150-PE両挿-1.2)  
分1NO.0+15.730

仮設管(1)詳細図 s=1/100

仮排水管(1)詳細図 s=1/50

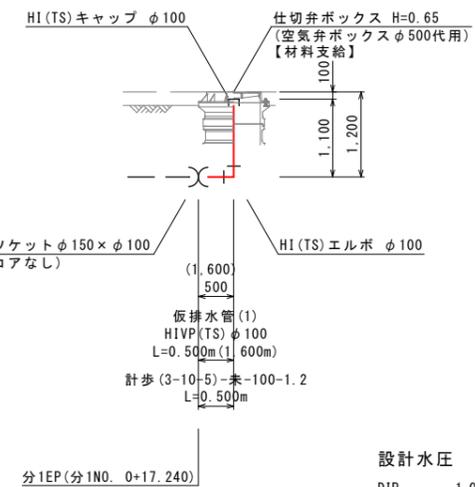
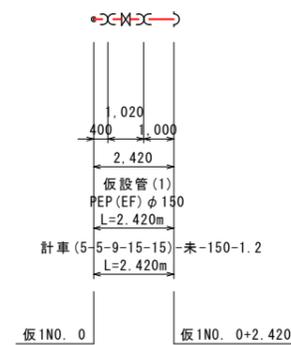


仮排水管(1)詳細図

EFソケット φ150  
(EF両受チ-ス φ150×φ150(EF))  
(分1NO.0+14.970)

仕切弁設置工(150-PE両挿-1.2)  
仮1NO.0+0.910

EFソケット φ150  
メカニカルキャップφ150(PEP)  
(コアなし)



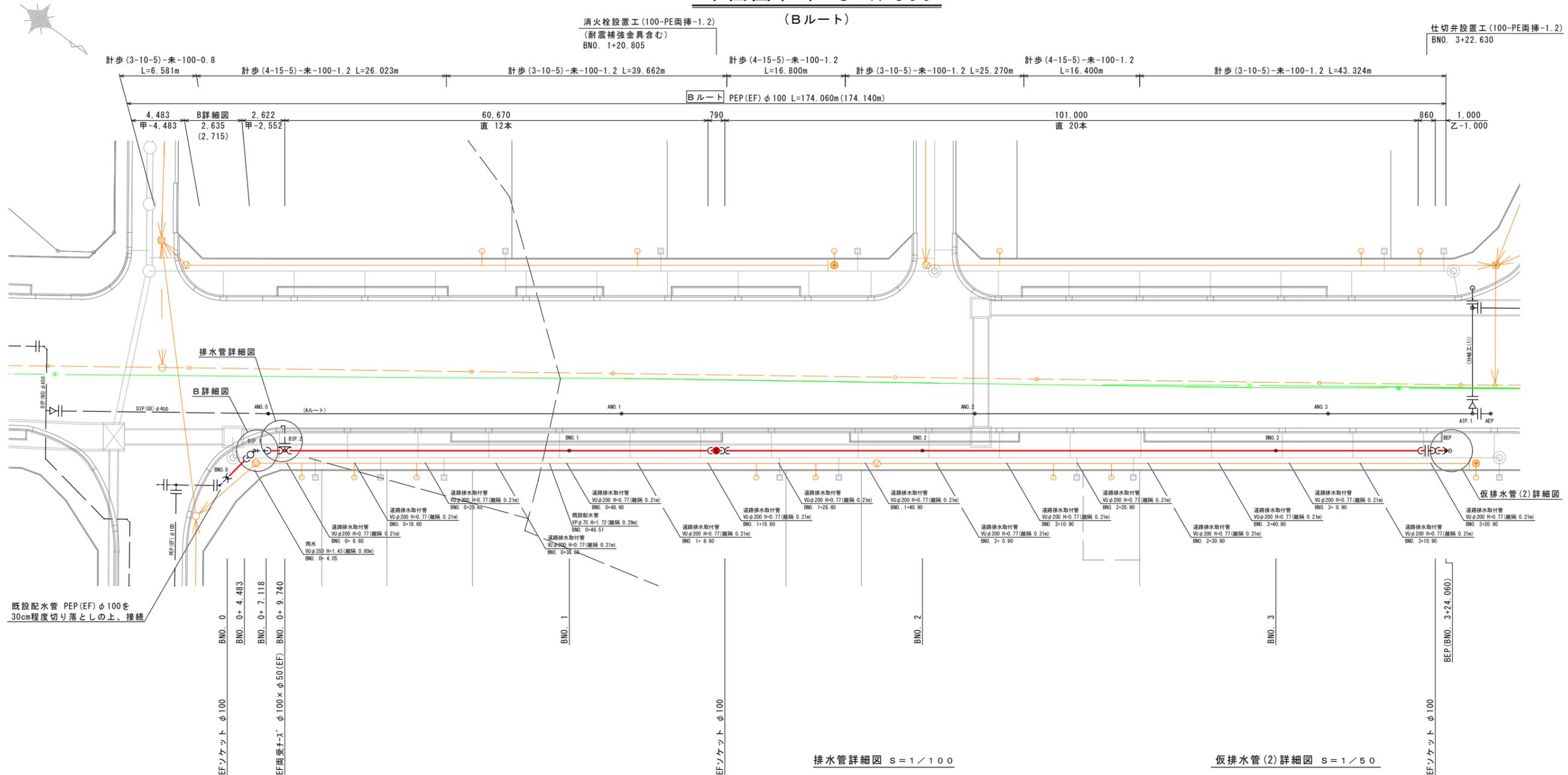
設計水圧  
DIP 1.08MPa  
PEP 0.78MPa  
フランジ 7.5K仕様

二受T字管 φ400×φ300(GX)  
ANO. 3+20.425  
栓φ400(GX)  
【養生品流用】  
AEP(ANO.3+23.000)

図面番号	縮尺	図示
3/8		
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)	
種別	平面図(1) Aルート 詳細図	
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所		

\* 道路排水・宅内雨水・汚水取付管との離隔が300mm以上確保できない箇所は配水管にサド'エロ-ジ-ン防止シート(t=6mm, L=300mm)を巻き付けること。

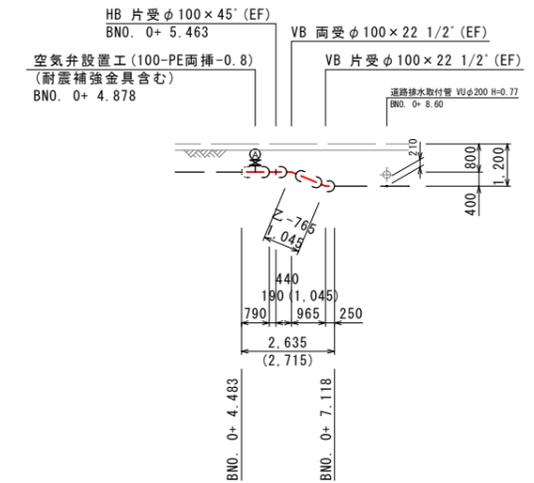
平面図(2) S=1/300



B詳細図 S=1/100

排水管詳細図 S=1/100

仮排水管(2)詳細図 S=1/50



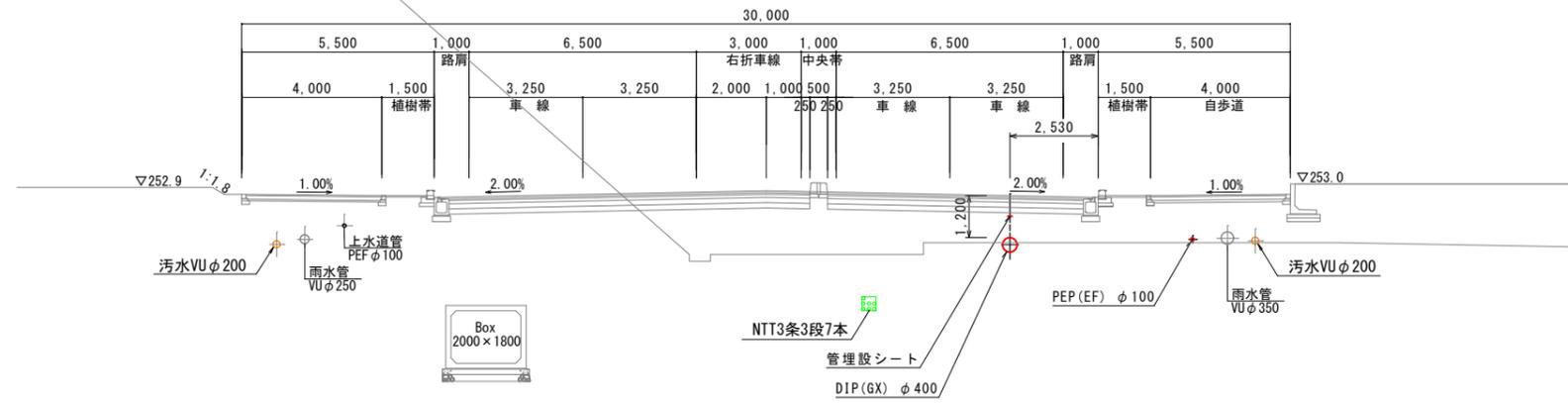
\* 道路排水・宅内雨水・汚水取付管との間隔が300mm以上確保できない箇所は配水管にサド「E」防シット(t=6mm, L=300mm)を巻き付けること。

図面番号	4 8	縮尺	図示
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	平面図(2) Bルート 詳細図		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

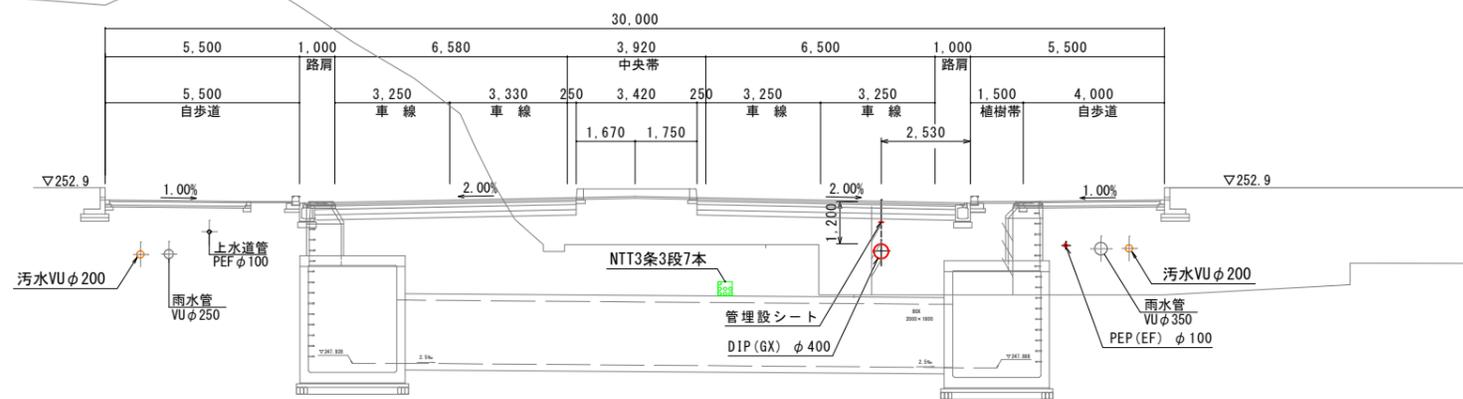
# 横断図(1) S=1/100

Aルート

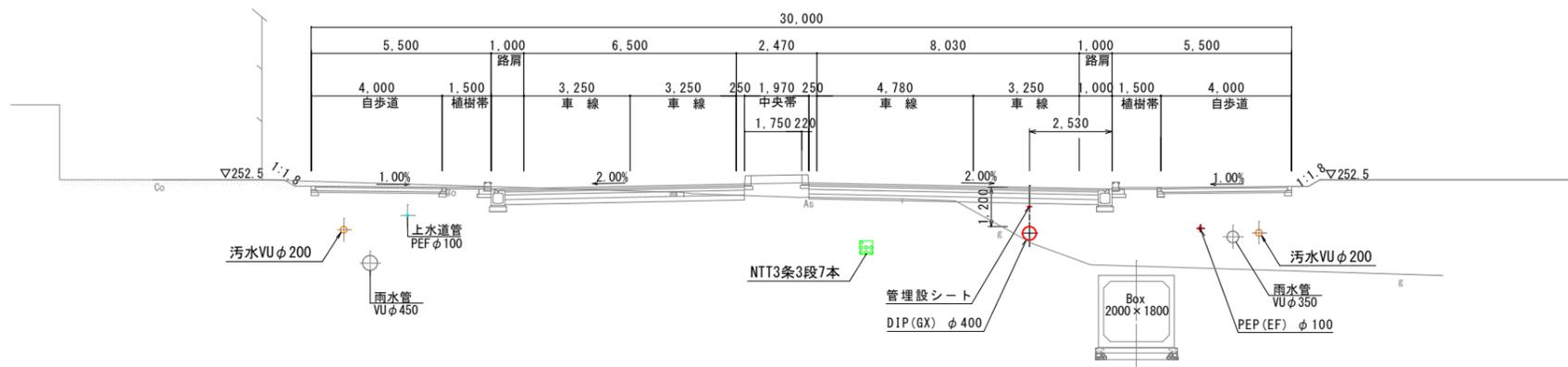
ANO. 3



ANO. 2



ANO. 1

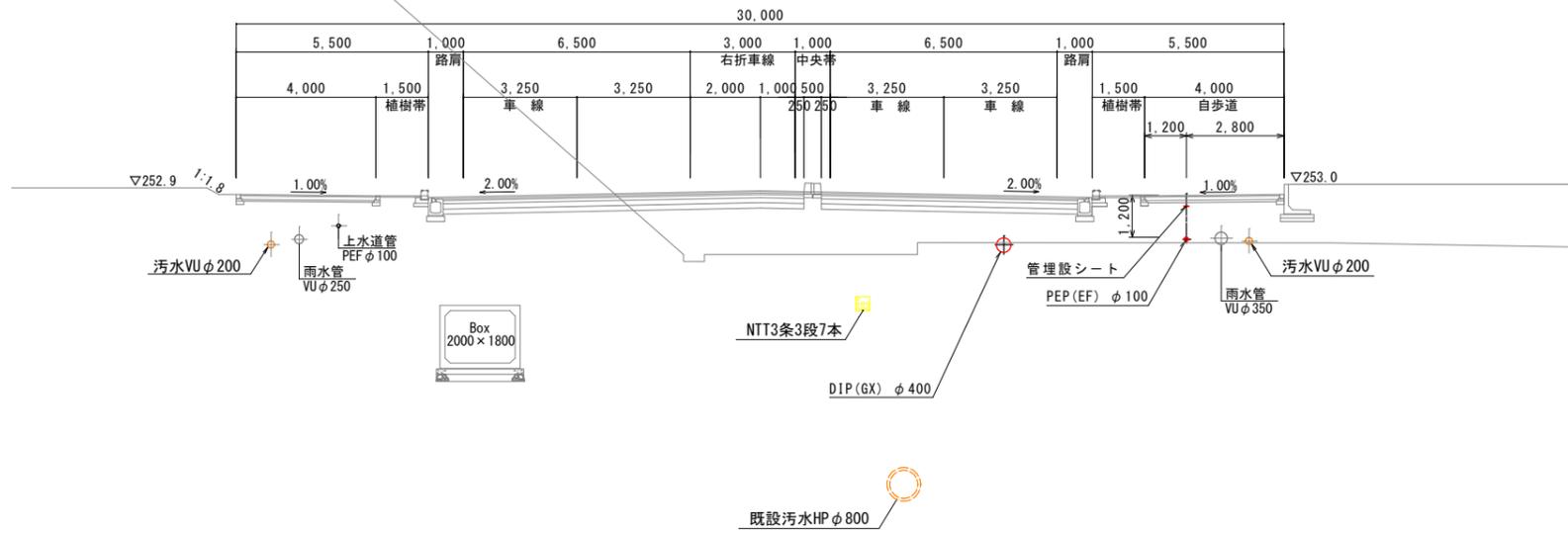


図面番号	5 8	縮尺	1/100
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	横断図(1)		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

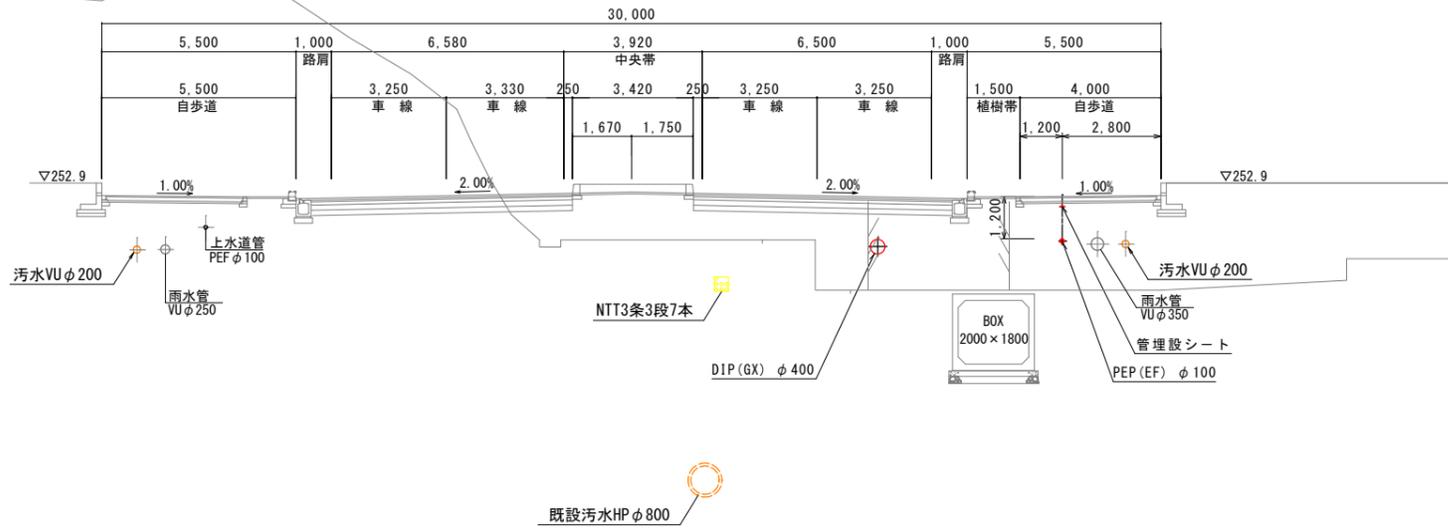
# 横断図(2) S=1/100

Bルート

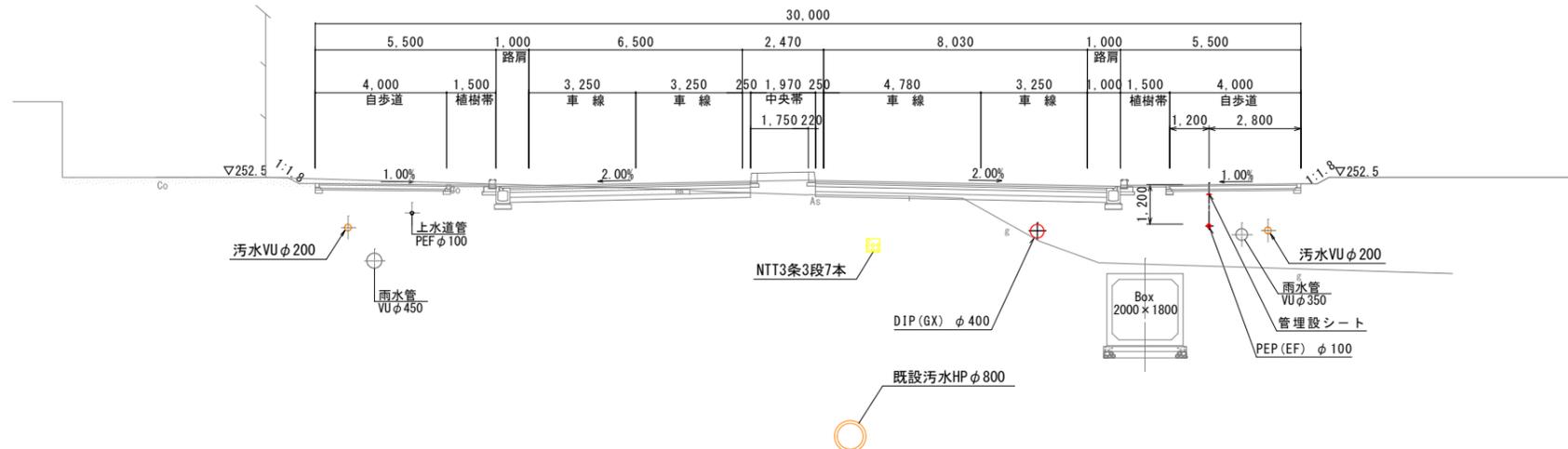
BNO.3



BNO.2



BNO.1

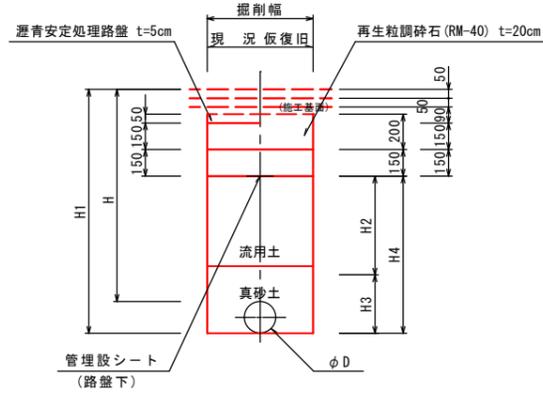


図面番号	6 8	縮尺	1/100
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	横断図(2)		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

# 標準床掘断面図 S = 1 / 2 0

計車(5-5-9-15-15) - 未-D-H

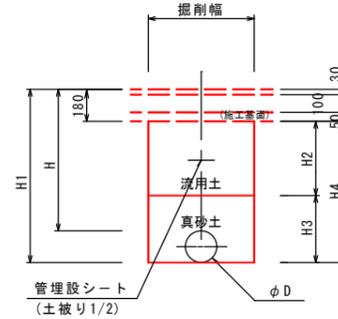
表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調砕石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込砕石RC-40) t=150



記号	D	H	H1	H2	H3	H4	備考
計車(5-5-9-15-15) - 未-400-1.2	400	1200	1630	510	630	1140	
計車(5-5-9-15-15) - 未-150-1.2	150	1200	1380	510	380	890	
計車(5-5-9-15-15) - 未-50-1.2	50	1200	1260	510	260	770	

計歩(3-10-5) - 未-D-H

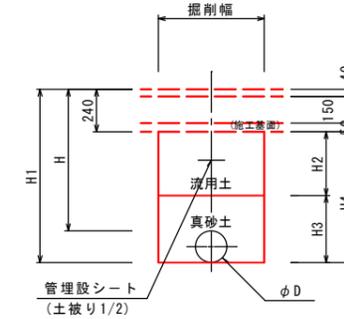
表層(再生開粒度アスコン) t=30  
 路盤(再生切込砕石RC-30) t=100  
 フィルター層(遮断層用砂) t=50



記号	D	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(3-10-5) - 未-100-0.8	100	800	930	420	330	750	
計歩(3-10-5) - 未-100-1.2	100	1200	1330	820	330	1150	
計歩(3-10-5) - 未-100-1.2	100	1200	1320	820	320	1140	排水管

計歩(4-15-5) - 未-D-H

表層(再生開粒度アスコン) t=40  
 路盤(再生切込砕石RC-40) t=150  
 フィルター層(遮断層用砂) t=50

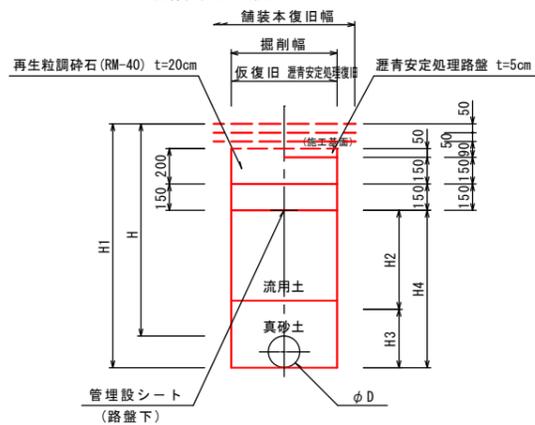


記号	D	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(4-15-5) - 未-100-1.2	100	1200	1330	760	330	1090	
計歩(4-15-5) - 未-50-1.2	50	1200	1260	760	260	960	

舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧】

表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調砕石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込砕石RC-40) t=150

【瀝青安定処理復旧】  
 瀝青安定処理路盤 t=50



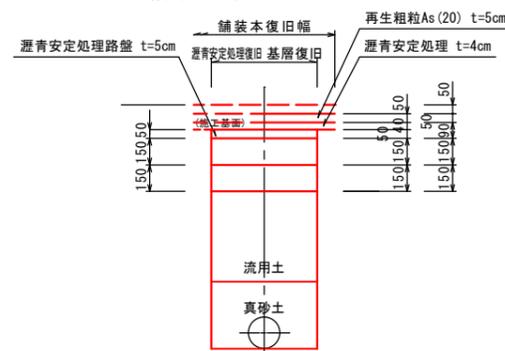
記号	D	H	H1	H2	H3	H4	備考
計車(5-5-9-15-15) - 未-400-1.2	400	1200	1630	510	630	1140	
計車(5-5-9-15-15) - 未-150-1.2	150	1200	1380	510	380	890	
計車(5-5-9-15-15) - 未-50-1.2	50	1200	1260	510	260	770	

舗装本復旧工【基層復旧】

表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調砕石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込砕石RC-40) t=150

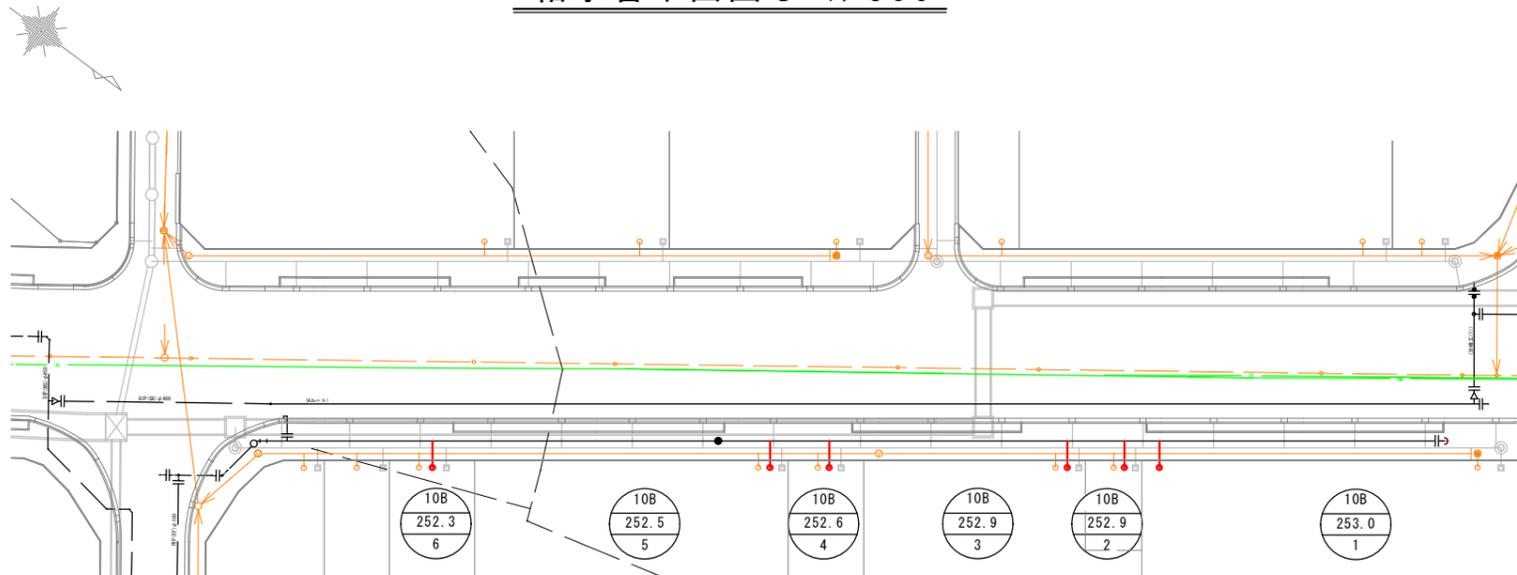
【基層復旧】

基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 瀝青安定処理路盤 t=40

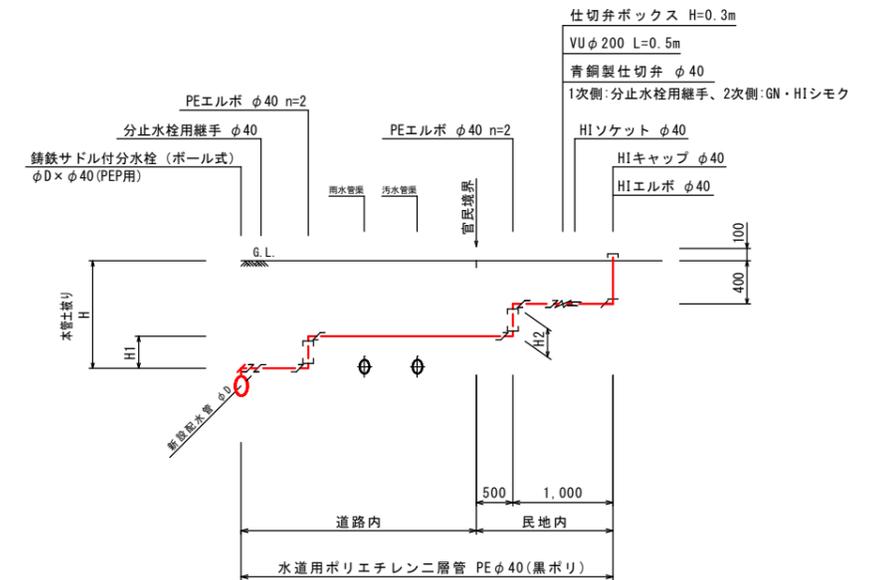


図面番号	7 8	縮尺	1/20
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	標準床掘断面図		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

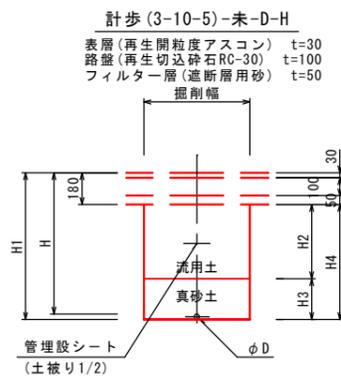
給水管平面図 S=1/500



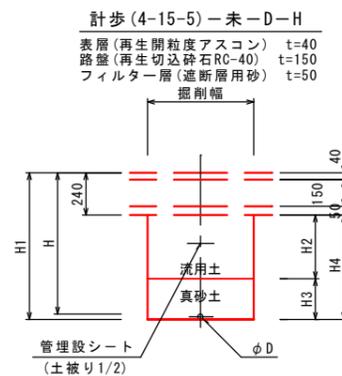
給水管標準図 S=FREE



給水管標準床掘断面図 S=1/20

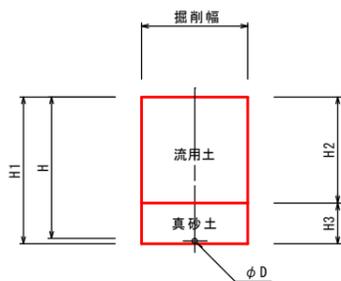


記号	D	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(3-10-5)-未-40-0.8	40	800	850	420	250	670	
計歩(3-10-5)-未-40-1.2	40	1200	1250	820	250	1070	



記号	D	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(5-10-15)-未-40-0.8	40	800	850	360	250	610	
計歩(5-10-15)-未-40-1.2	40	1200	1250	760	250	1010	

民-未-D-H



記号	D	H	H1	H2	H3	備考
民-未-40-0.4	40	400	450	200	250	
民-未-40-0.8	40	800	850	600	250	

ルート	本管口径	宅地NO.	鎖鉄サドル付分水栓(ボール式)	水道用ポリエチレン二層管PE(黒ポリ)	止水栓用継手(WSA規格)	PEエルボ(WSA規格)	耐衝撃性硬質強化ビニル管HIVP	HIソケット	HIエルボ	HIキャップ	青銅製仕切弁(流用土用継手)	仕切弁ボックス	VU	管理設シート	砂子(グラウト)	H	H1	H2	備考
			φ100×φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	H=300	φ200×0.3m	(m)	(m)			
B	φ100	10B-1	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-2	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-3	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-4	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-5	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-6	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		計	6	24.00 (25.80)	6	24	1.80 (4.80)	6	6	6	6	6	16.80	25.80					

ルート	本管口径	宅地NO.	土工延長						備考	
			計歩(3-10-5)-未-40-0.8	計歩(3-10-5)-未-40-1.2	計歩(4-15-5)-未-40-0.8	計歩(4-15-5)-未-40-1.2	民-未-40-0.4	民-未-40-0.8		
B	φ100	10B-1		2.30	0.50			1.00	0.50	
		10B-2				2.30	0.50	1.00	0.50	
		10B-3				2.30	0.50	1.00	0.50	
		10B-4				2.30	0.50	1.00	0.50	
		10B-5				2.30	0.50	1.00	0.50	
		10B-6				2.30	0.50	1.00	0.50	
		計	2.30	0.50		11.50	2.50	6.00	3.00	

図面番号	8/8	縮尺	図示
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	給水管平面図・給水管標準図 給水管標準床掘断面図		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

## 参 考 図 書

工事名称 : 令和7年度 開発地給水事業ほか  
八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2 工区)

### <注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。  
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を  
するものではありません。
- 3 本工事は広島県制定『土木工事共通仕様書』の規定のほか、  
広島県水道広域連合企業団東広島事務所制定『設計・施工指針（施工指針編）』  
同 『設計・施工指針（配管標準図集）』  
同 『土工断面工事写真撮影例』  
同 『立会・段階確認項目一覧表』  
に基づいて実施することとしておりますので、これらの入手もお願いいたします。

入手先：広島県水道広域連合企業団ホームページよりダウンロードできます  
ホームページ

>事業者の皆様

>関係規程・各種様式 ー 東広島事務所

>各種様式等ダウンロード

(東広島事務所工務課でもCDを貸し出ししております。)

#### 4 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土	カワモトリサイクルセンター	東広島市志和町内字塚土山 10001	8.6 km

・当該工事により発生するAs 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	安芸アスコン株式会社 瀬野川合材工場	広島市安芸区上瀬野町甲 1-2	5.1 km

・当該工事により発生する建設汚泥は、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設汚泥	有限会社トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	12.7 km

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 44 東広島市 00-07.12.01(0)  N 水道(R02.01～)	凡例 Co・・・コンクリート      As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック      BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン      TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代 諸経費工種 ICT補正区分 施工地域補正区分 週休補正区分 復興補正区分 現場環境改善費区分 緊急工事区分 積雪寒冷地区分 契約保証区分 前払金支出割合区分	前世代 01 開削及小口径推進工事等 00 補正なし 03 一般交通影響あり 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 率分額計上しない 00 通常工事 0% 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
配水管布設工					Y1999 レベル1
400 管布設工 (DIP)	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	350	m			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	350	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 舗装厚10cm以下	160	m2			Y1K01070102 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	160	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
管路掘削 ハックル 排出対策型	250	m3			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削 バックホ 排出対策型	250	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
真砂詰工 バックホ 排出対策型	78	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) バックホ 排出対策型	78	m3			VSW101028 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 バックホ 排出対策型 流用土	83	m3			Y4999 レベル4
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	83	m3			SQ006 00 単第0 -0007 表
仮置運搬工(流用土) バックホ 排出対策型 往復,砂質土	83	m3			VSW611028 00 単第0 -0009 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 再生切込砕石	164	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	164	m2			SQZ10 00 単第0 -0014 表
上層路盤 仕上り厚20cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	164	m2			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	164	m2			SQZ10 00  単第0 -0016 表
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	164	m2			SQZ10 00  単第0 -0016 表
殻運搬処理 (As) バック杓 排出対策型 As(2.35)	9	m3			Y4999 レベル4
残土処理工 (舗装版) バック杓 排出対策型 As	9	m3			VSW604028 00  単第0 -0017 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)瀬野川合材工場	9	m3			F2000 00
発生土処理 バック杓 排出対策型 砂質土	150	m3			Y4999 レベル4
残土処理工 (残土) バック杓 排出対策型 砂質土	150	m3			VSW605028 00  単第0 -0019 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土					F1000 00
舗装本復旧工	150	m3			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	1	式			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	350	m			SPK25040307 00
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	350	m			単第0 -0001 表
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	164	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	164	m2			VSW21202831 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					単第0 -0020 表
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	8	m3			F1000 00
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	52	m2			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】 瀝青安定処理5cm As(2.35)	52	m2			VSW21202832 00  単第0 -0024 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)瀬野川合材工場	3	m3			F2000 00
舗装本復旧工【基層復旧】 基層5cm+瀝青安定処理4cm 再生粗粒20+瀝青安定処理4cm、As(2.35)	519	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【基層復旧】 基層5cm+瀝青安定処理4cm 再生粗粒20+瀝青安定処理4cm、As(2.35)	519	m2			VSW21202841 00  単第0 -0025 表
400 管布設工(DIP)	1	式			Y3999 レベル3
ダクタイル鋳鉄管(直管) GX形 S種 400×6000 内面粉体塗装	28	本			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
ダクタイル鋳鉄管(S種管)GX形管 内面粉体塗装 400 長さ 6000mm	28	本			TQ000059 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ダクタイル鋳鉄管(直管) GX形 1種 400×6000 内面粉体塗装	1	本			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
ダクタイル鋳鉄管(1種管)GX形管 内面仕様 粉体塗装 管径長さ 400mm×6m	1	本			TQ100249 00
二受T字管 GX形 400× 300	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
DCIP二受T字管 GX形 400× 300	1	個			TQ100321 00
ライナ GX形 400 パイロット含む	4	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
ライナ GX形 400	4	個			TQ100291 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
切管用挿し口リング GX形 400 タッピンねじタイプ	2	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
切管用挿し口リング GX形 400 タッピンねじタイプ	2	個			TQ100311 00
接合セット GX形 400	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
DCIP接合材料 GX形 400	1	個			TQ100307 00
鋳鉄管据付工 400	172.5	m			Y4999 レベル4
鋳鉄管吊込み据付 (機械施工) 呼び径 400mm	172.5	m			SQ040 00
G X 形継手接合工 直管 呼び径400mm	29	口			単第0 -0028 表 Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
G X形継手接合 接合 直管 呼び径400mm	29	□			SQ000001 00 単第0 -0029 表
G X形継手接合工 異形管 呼び径400mm	1	□			Y4999 レベル4
G X形継手接合 接合 異形管 呼び径400mm	1	□			SQ000001 00 単第0 -0030 表
栓取付工 GX形 400	1	□			Y4999 レベル4
メカニカル継手工 据付工 呼び径400mm	1	□			SQ044 00 単第0 -0031 表
栓取外し工 GX形 400	1	□			Y4999 レベル4
メカニカル継手工 取外し工 呼び径400mm	1	□			SQ044 00 単第0 -0032 表
鋳鉄管切断溝切り加工工 ( G X 形 ) タッピンねじ式専用工具 切断・溝切り 2 工程 呼び径: 400mm	2	□			Y4999 レベル4
鋳鉄管切断溝切り加工 ( G X 形 ) タッピンねじ式専用工具 切断・溝切り 2 工程 呼び径: 400mm	2	□			SQ145 00 単第0 -0033 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
G X形継手挿口加工 タッピンねじ式 呼び径400mm	2	口			Y4999 レベル4
N S・S ・G X継手挿口加工 G X継手 タッピンねじ式 呼び径： = 4 0 0 mm	2	口			SQ056 00 単第0 -0034 表
仕切弁設置工 400-GX両受-1.2【材工共】 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁設置工 400-GX両受-1.2 東広島市型	1	箇所			VSW72140031 00 単第0 -0035 表
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 400，土被り 1.20，高さ 0.60 東広島市型	1	箇所			VSB1004003 00 単第0 -0037 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] ，現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
仕切弁設置工（管材費） 400-GX両受-1.2 東広島市型	1	箇所			VSW72140032 00 単第0 -0038 表
ホリソリフ被覆工 400【材工共】	173	m			Y4999 レベル4
ホリソリフ被覆工 400【材工共】	173	m			VSE400400 00 単第0 -0039 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	173	m			Y4999 レベル4
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	173	m			VSE700 00 単第0 -0040 表
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	173	m			Y4999 レベル4
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	173	m			VSE500 00 単第0 -0041 表
150 管布設工 ( PEP )	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	39	m			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	39	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 舗装厚10cm以下	12	m2			Y1K01070102 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	12	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
管路掘削 ハック杓 排出対策型	15	m3			Y4999 レベル4
管路掘削 ハック杓 排出対策型	15	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
真砂詰工 ハック杓 排出対策型	4	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) ハック杓 排出対策型	4	m3			VSW101028 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓 排出対策型 流用土	6	m3			Y4999 レベル4
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	6	m3			SQ006 00 単第0 -0007 表
仮置運搬工(流用土) ハック杓 排出対策型 往復,砂質土	6	m3			VSW611028 00 単第0 -0009 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 再生切込砕石	12	m2			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	12	m2			SQZ10 00  単第0 -0014 表
上層路盤 仕上り厚20cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	12	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	12	m2			SQZ10 00  単第0 -0016 表
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	12	m2			SQZ10 00  単第0 -0016 表
殻運搬処理(As) バックホ 排出対策型 As(2.35)	1	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホ 排出対策型 As	1	m3			VSW604028 00  単第0 -0017 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)瀬野川合材工場	1	m3			F2000 00
発生土処理 バックホ 排出対策型 砂質土	8	m3			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工(残土) バックホ 排出対策型 砂質土	8	m3			VSW605028 00  単第0 -0019 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	8	m3			F1000 00
舗装本復旧工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	39	m			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	39	m			SPK25040307 00  単第0 -0001 表
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	12	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	12	m2			VSW21202831 00  単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	1	m3			F1000 00
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】 瀝青安定処理5cm As(2.35)	6	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】 瀝青安定処理5cm As(2.35)	6	m2			VSW21202832 00 単第0 -0024 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)瀬野川合材工場	0.3	m3			F2000 00
舗装本復旧工【基層復旧】 基層5cm+瀝青安定処理4cm 再生粗粒20+瀝青安定処理4cm、As(2.35)	59	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【基層復旧】 基層5cm+瀝青安定処理4cm 再生粗粒20+瀝青安定処理4cm、As(2.35)	59	m2			VSW21202841 00 単第0 -0025 表
150 管布設工 ( PEP )	1	式			Y3999 レベル3
水道配水用ポリエチレン管(EF受口付直管) PEP 150×5000	3	本			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソレ管 EF受口付直管 片受タイプ 150×5.0M	3	本			TQ000129 00
EF両受チーヅ PEP 150× 150	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソレ管継手 EFチーヅ 両受タイプ 150×150	1	個			TQ000247 00
EFソケット PEP 150	4	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソレ管継手 EFソケット 150	4	個			TQ000139 00
異種管継手 150 GX-PEP型	1	個			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
異種管継手 150 GX-PEP型	1	個			F0025 00
挿し受片落管 GX形 300× 150	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
DCIP挿し受片落管 GX形 300× 150	1	個			TQ100337 00
メカニカルキャップ 150 PEP用 インナー無し	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
メカニカルキャップ 150 PEP インナー無し	1	個			THSFA002344 00 排水管用
接合セット GX形 300	1	個			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
DCIP接合材料 GX形 300	1	個			TQ100305 00
接合セット GX形 150	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
DCIP接合材料 GX形 150	1	個			TQ100237 00
管明示粘着テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	18.1	m			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	18.1	m			VSE600 00 単第0 -0043 表
ポリエチレン管据付工 150	15	m			Y4999 レベル4
ポリエチレン管据付工 呼び径 150mm	15	m			SQ105 00 単第0 -0044 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管（融着接合）継手工 150	13	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管（融着接合）継手工 150	13	□			VPE100150 00 単第0 -0045 表
ポリエチレン管切断工 150	3	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 150mm	3	□			SQ110 00 単第0 -0047 表
鋳鉄管据付工 150	1.6	m			Y4999 レベル4
鋳鉄管吊込み据付（機械施工） 呼び径 150mm	1.6	m			SQ040 00 単第0 -0048 表
G X形継手接合工 異形管 呼び径300mm	1	□			Y4999 レベル4
G X形継手接合 接合 異形管 呼び径300mm	1	□			SQ000001 00 単第0 -0050 表
G X形継手接合工 異形管 呼び径150mm	1	□			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
G X形継手接合 接合 異形管 呼び径150mm	1	口			SQ000001 00  単第0 -0051 表
ポリエチレン管メカニカル継手工 150	1	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 150mm	1	口			SQ000035 00  単第0 -0052 表
仕切弁設置工 150-PE両挿-1.2【材工共】 東広島市型	3	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁設置工 150-PE両挿-1.2 東広島市型	3	箇所			VSW72015031 00  単第0 -0053 表
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 150, 土被り 1.20, 高さ 0.95 東広島市型	3	箇所			VSB1001503 00  単第0 -0055 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
仕切弁設置工(管材費) 150-PE両挿-1.2 東広島市型	3	箇所			VSW72015032 00  単第0 -0056 表
ポリエレンパイプ 被覆工 150【材工共】	5.6	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ホリシリンズリブ被覆工 150【材工共】	5.6	m			VSE400150 00 単第0 -0057 表
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	19.7	m			Y4999 レベル4
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	19.7	m			VSE700 00 単第0 -0040 表
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	19.7	m			Y4999 レベル4
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	19.7	m			VSE500 00 単第0 -0041 表
100 管布設工 ( PEP )	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
管路掘削 ハックル 排出対策型	110	m3			Y4999 レベル4
管路掘削 ハックル 排出対策型	110	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
真砂詰工 ハック杓 排出対策型	30	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) ハック杓 排出対策型	30	m3			VSW101028 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓 排出対策型 流用土	82	m3			Y4999 レベル4
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	82	m3			SQ006 00 単第0 -0007 表
仮置運搬工(流用土) ハック杓 排出対策型 往復,砂質土	82	m3			VSW611028 00 単第0 -0009 表
発生土処理 ハック杓 排出対策型 砂質土	23	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) ハック杓 排出対策型 砂質土	23	m3			VSW605028 00 単第0 -0019 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	23	m3			F1000 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
100 管布設工 ( PEP )					Y3999 レベル3
	1	式			
水道配水用ポリエチレン管(EF受口付直管) PEP 100×5000					Y4999 レベル4
	34	本			
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管 片受タイプ 100×5.0M					TQ000127 00
	34	本			
EF片受バンド PEP 100×45°					Y4999 レベル4
	1	個			
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ポリエチレン管継手 EF45°バンド 片受タイプ 100					TQ000197 00
	1	個			
EF片受バンド PEP 100×22°1/2					Y4999 レベル4
	1	個			
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道配水用ホリソレ管継手 EF22 1/2°ベント片受タイプ 100	1	個			TQ000207 00
EF両受ベンド PEP 100×22°1/2	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソレ管継手 EF22 1/2°ベント両受タイプ 100	1	個			TQ000167 00
EF両受チーゾ PEP 100× 50	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ホリソレ管継手 EFチーゾ両受タイプ 100×50	1	個			TQ000237 00
EFソケット 100	3	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道配水用ポリレン管継手 EFカット 100	3	個			TQ000137 00
管明示粘着テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	174.1	m			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	174.1	m			VSE600 00 単第0 -0043 表
ポリエチレン管据付工 100	173.3	m			Y1K01010207レベル4
ポリエチレン管据付工 呼び径 100mm	173.3	m			SQ105 00 単第0 -0058 表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 100	46	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工 100	46	口			VPE100100 00 単第0 -0059 表
ポリエチレン管切断工 100	5	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 100mm	5	口			SQ110 00 単第0 -0061 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管メカニカル継手取外し工 100	1	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)取外し工 100	1	口			V0001 00 単第0 -0062 表
仕切弁設置工 100-PE両挿-1.2【材工共】 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁設置工 100-PE両挿-1.2 東広島市型	1	箇所			VSW72010031 00 単第0 -0064 表
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 100, 土被り 1.20, 高さ 1.05 東広島市型	1	箇所			VSB1001003 00 単第0 -0066 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
仕切弁設置工(管材費) 100-PE両挿-1.2 東広島市型	1	箇所			VSW72010032 00 単第0 -0067 表
空気弁設置工 100-PE両挿-0.8(耐震補強金具含む)【材工共】 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
空気弁設置工 100-PE両挿-0.8(耐震補強金具含む) 東広島市型	1	箇所			VSWH7301011 00 単第0 -0068 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
空気弁BOX設置工【材工共】 口径 75・ 100 , 土被り 0.80 , 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			VS2000751 00  単第0 -0074 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
空気弁設置工(管材費) 100-PE両挿-0.8(耐震補強金具含む) 東広島市型	1	箇所			VSWH7301012 00  単第0 -0075 表
仕切弁BOX撤去工 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁BOX撤去工 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			V0003 00  単第0 -0076 表
ホリシリンダ被覆工 100【材工共】	3	m			Y4999 レベル4
ホリシリンダ被覆工 100【材工共】	3	m			VSE400100 00  単第0 -0077 表
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	174.1	m			Y4999 レベル4
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	174.1	m			VSE700 00  単第0 -0040 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	174.1	m			Y4999 レベル4
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	174.1	m			VSE500 00 単第0 -0041 表
消火栓設置工( 100)	1	式			Y2999 レベル2
消火栓設置工( 100)	1	式			Y3999 レベル3
消火栓設置工 100-PE両挿-1.2(耐震補強金具含む)【材工共 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
消火栓設置工 100-PE両挿-1.2(耐震補強金具含む) 東広島市型	1	箇所			VSWH7011021 00 単第0 -0078 表
消火栓BOX設置工【材工共】 口径 75・ 100,土被り 1.20,高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			VSB3000753 00 単第0 -0080 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] ,現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
消火栓設置工(管材費) 100-PE両挿-1.2(耐震補強金具含む) 東広島市型	1	箇所			VSWH7011022 00 単第0 -0081 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設排水管設置工(本管 150- 100)					Y2999 レベル2
	1	式			
管路土工					Y3999 レベル3
	1	式			
管路掘削 ハック杓 排出対策型					Y4999 レベル4
	0.3	m3			
管路掘削 ハック杓 排出対策型					SQ005 00
	0.3	m3			単第0 -0004 表
真砂詰工 ハック杓 排出対策型					Y4999 レベル4
	0.1	m3			
真砂詰工(管上20cm迄) ハック杓 排出対策型					VSW101028 00
	0.1	m3			単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓 排出対策型 流用土					Y4999 レベル4
	0.2	m3			
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)					SQ006 00
	0.2	m3			単第0 -0007 表
仮置運搬工(流用土) ハック杓 排出対策型 往復,砂質土					VSW611028 00
	0.2	m3			単第0 -0009 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理 バックホ 排出対策型 砂質土	0.3	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホ 排出対策型 砂質土	0.3	m3			VSW605028 00 単第0 -0019 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	0.3	m3			F1000 00
排水管設置工(HIVP)	1	式			Y3999 レベル3
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP 100	1.6	m			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP 100	1.6	m			FTH117 00
エルボ HIVP 100	1	個			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルbow HITS継手 AS-21 100	1	個			TQ001701 00
キャップ HIVP 100	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 キャップ HITS継手 100	1	個			TQ001829 00
メカニカルソケット 150×100 PEP×VP インナー無し	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
メカニカルソケット 150×100 インナー無し	1	個			F0026 00
塩ビ管据付工 100	1.6	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 100mm	1.6	m			SQ100 00 単第0 -0082 表
塩ビ管(TS)継手工 100	2	□			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 100mm TS継手	2	□			SQ101 00 単第0 -0083 表
硬質塩化ビニル管切断工 100	2	□			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 100mm	2	□			SQ110 00 単第0 -0084 表
ポリエチレン管メカニカル継手工 150	1	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 150mm	1	□			SQ000035 00 単第0 -0052 表
鋳鉄継手工(メカニカル形) 100	1	□			Y4999 レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカソケット等	1	□			VSE10101 00 単第0 -0085 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁BOX設置工 500 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁BOX設置工【手間のみ】 500 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			V0004 00 単第0 -0086 表
ホリシリンブ被覆工 150【材工共】	1	m			Y4999 レベル4
ホリシリンブ被覆工 150【材工共】	1	m			VSE400150 00 単第0 -0057 表
排水管設置工(本管 100- 50)	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	3	m			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	3	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 舗装厚10cm以下	1	m2			Y1K01070102 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	1	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
管路掘削 ハック杓 排出対策型	3	m3			Y4999 レベル4
管路掘削 ハック杓 排出対策型	3	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
真砂詰工 ハック杓 排出対策型	1	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) ハック杓 排出対策型	1	m3			VSW101028 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓 排出対策型 流用土	2	m3			Y4999 レベル4
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	2	m3			SQ006 00 単第0 -0007 表
仮置運搬工(流用土) ハック杓 排出対策型 往復,砂質土	2	m3			VSW611028 00 単第0 -0009 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 再生切込碎石	1	m2			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	1	m2			SQZ10 00  単第0 -0014 表
上層路盤 仕上り厚20cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	1	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	1	m2			SQZ10 00  単第0 -0016 表
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	1	m2			SQZ10 00  単第0 -0016 表
殻運搬処理 (As) バックホ 排出対策型 As(2.15)	0.04	m3			Y4999 レベル4
残土処理工 (舗装版) バックホ 排出対策型 As	0.04	m3			VSW604028 00  単第0 -0017 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.15t/m3) 安芸アスコン(株)瀬野川合材工場	0.04	m3			F2200 00
発生土処理 バックホ 排出対策型 砂質土	1	m3			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工(残土) バックホ 排出対策型 砂質土	1	m3			VSW605028 00 単第0 -0019 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	1	m3			F1000 00
舗装本復旧工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	3	m			Y1G01030201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	3	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	1	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(仮復旧部) 瀝青安定処理5cm As(2.35)	1	m2			VSW21202831 00 単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	0.04	m3			F1000 00
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】 瀝青安定処理5cm As(2.35)	0.4	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧(影響部)】 瀝青安定処理5cm As(2.35)	0.4	m2			VSW21202832 00 単第0 -0024 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)瀬野川合材工場	0.02	m3			F2000 00
排水管設置工(HIVP)	1	式			Y3999 レベル3
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP 50	4.4	m			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP 50	4.4	m			FTH115 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
エルボ HIVP 50	4	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルボ HITS継手 50	4	個			TQ001697 00
EFソケット PEP 50	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ポリ пропилен管継手 EFソケット 50	1	個			TQ000133 00
メカニカルソケット 50 PEP×VP インナーコア無し	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
メカニカルソケット 50 PEP×塩ビ インナーコア無し	1	個			THSFA002337 00 排水管用

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管明示粘着テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	5.4	m			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	5.4	m			VSE600 00 単第0 -0043 表
塩ビ管据付工 50	4.4	m			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50mm	4.4	m			SQ100 00 単第0 -0087 表
塩ビ管(TS)継手工 50	7	口			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 50mm TS継手	7	口			SQ101 00 単第0 -0088 表
硬質塩化ビニル管切断工 50	4	口			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 50mm	4	口			SQ110 00 単第0 -0089 表
ポリエチレン管据付工 50	0.3	m			Y1K01010207 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管据付工 呼び径 50mm	0.3	m			SQ105 00 単第0 -0090 表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 50	2	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工 50	2	口			VPE10050 00 単第0 -0091 表
ポリエチレン管メカニカル継手工 50	2	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 50mm	2	口			SQ000035 00 単第0 -0093 表
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50	1	口			Y4999 レベル4
鋳鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカ加工等	1	口			VSE10101 00 単第0 -0085 表
仕切弁設置工 50-PE両挿-1.2【材工共】 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁設置工 50-PE両挿-1.2 東広島市型	1	箇所			VSW72005031 00 単第0 -0094 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 50, 土被り 1.20, 高さ 1.05 東広島市型	1	箇所			VSΒ1000503 00  単第0 -0096 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
仕切弁設置工(管材費) 50-PE両挿-1.2 東広島市型	1	箇所			VSW72005032 00  単第0 -0097 表
仕切弁BOX設置工 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁BOX設置工【手間のみ】 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			V0002 00  単第0 -0098 表
ホリシリンダ被覆工 50【材工共】	3	m			Y4999 レベル4
ホリシリンダ被覆工 50【材工共】	3	m			VSE400050 00  単第0 -0099 表
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	5.4	m			Y4999 レベル4
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	5.4	m			VSE700 00  単第0 -0040 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	4	m			Y4999 レベル4
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	4	m			VSE500 00 単第0 -0041 表
コンクリート取壊し復旧工	1	箇所			Y4999 レベル4
コンクリート等取り壊し復旧工 コンクリート 300*300*250	1	箇所			VSW300 00 単第0 -0100 表
給水管布設工(本管 100)	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
管路掘削 バックホウ 排出対策型	10	m3			Y4999 レベル4
管路掘削 バックホウ 排出対策型	10	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
真砂詰工 バックホウ 排出対策型	4	m3			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
真砂詰工(管上20cm迄) バック杓 排出対策型	4	m3			VSW101028 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 バック杓 排出対策型 流用土	6	m3			Y4999 レベル4
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	6	m3			SQ006 00 単第0 -0007 表
仮置運搬工(流用土) バック杓 排出対策型 往復,砂質土	6	m3			VSW611028 00 単第0 -0009 表
発生土処理 バック杓 排出対策型 砂質土	3	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バック杓 排出対策型 砂質土	3	m3			VSW605028 00 単第0 -0019 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土	3	m3			F1000 00
給水管布設工(PE)	1	式			Y3999 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道用ホリソレ管 PE 40	25.8	m			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用ホリソレ二層管 PE50 1種 40	25.8	m			THSFA002398 00
鑄鉄製ホリソレ分水栓(ホリソレ式) 100×40(PEP用)	6	組			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
鑄鉄製ホリソレ分水栓(ホリソレ式) 100×40(PEP用)	6	組			F0012 00
分・止水栓用継手 40(WSA規格) JIS外径準拠	6	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
PE継手分止水栓用 40(WSA規格)	6	個			F0013 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
PEエルボ 40 ( WSA規格 ) JIS外径準拠	24	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費 [対象/2] , 現場管理費 [対象/2] 一般管理費 [対象]					#0042
PE用エルボ ( 砲金製 ) 40 ( WSA規格 )	24	個			F0014 00
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP 40	4.8	m			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費 [対象/2] , 現場管理費 [対象/2] 一般管理費 [対象]					#0042
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP 40	4.8	m			FTH114 00
HIソケット HIVP 40	6	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費 [対象/2] , 現場管理費 [対象/2] 一般管理費 [対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 ソケット HITS継手 40	6	個			TQ001645 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
HIエルボ HIVP 40	6	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルボ HITS継手 40	6	個			TQ001695 00
HIキャップ HIVP 40	6	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 キャップ HITS継手 40	6	個			TQ001823 00
ポリエチレン管据付工 40	25.8	m			Y4999 レベル4
ポリエチレン管据付工 呼び径 40mm	25.8	m			SQ105 00
分水栓建込工 100×40 ポリエチレン管	6	箇所			単第0 -0103 表 Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
サドル分水栓建込み ポリエチレン管 呼び径100mm 配水管 40mm	6	箇所			SQ000039 00 単第0 -0104 表
ポリエチレン管継手工 40	54	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管継手工 呼び径 40mm	54	口			SQ106 00 単第0 -0105 表
ポリエチレン管切断工 40	30	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 40mm	30	口			SQ110 00 単第0 -0106 表
青銅仕切弁設置工 40【材工共】 東広島市型	6	箇所			Y4999 レベル4
青銅仕切弁設置工 40 1次側:分・止水栓用継手(WSA規格),2次側:HI	6	箇所			VSW7400400 00 単第0 -0107 表
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 40,高さ 0.30 東広島市型	6	箇所			VSB1000401 00 単第0 -0111 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
青銅仕切弁設置工(管材費) 40 1次側:分・止水栓用継手(WSA規格),2次側:HI	6	箇所			VSW7400402 00 単第0 -0112 表
塩ビ管据付工 40	4.8	m			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 40mm	4.8	m			SQ100 00 単第0 -0113 表
塩ビ管(TS)継手工 40	24	口			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 40mm TS継手	24	口			SQ101 00 単第0 -0114 表
硬質塩化ビニル管切断工 40	12	口			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 40mm	12	口			SQ110 00 単第0 -0115 表
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	25.8	m			Y4999 レベル4
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm【材工共】	25.8	m			VSE700 00 単第0 -0040 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	16.8	m			Y4999 レベル4
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	16.8	m			VSE500 00 単第0 -0041 表
運搬処理工	1	式			Y2999 レベル2
排水処理	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断排水処理 汚泥吸排車	1	m3			Y4999 レベル4
汚泥運搬工	1	式			V5000 00 単第0 -0116 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
無機性汚泥 カッター切断処理水 (有)トラスト	1	m3			F4000 00
交通管理工	1	式			Y2999 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員	1	式			Y3999 レベル3
交通誘導警備員B	50	人			Y4999 レベル4
交通誘導警備員B	50	人			R0369 00
直接工事費					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
各種試験	1	式			YZZ06001001 レベル4
通水試験( 400 ) 管径：800mm以下 既設管で注水する	0.14	日			SQ400 00  単第0 -0118 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通水試験 ( 150 ) 管径：800mm以下 既設管で注水する	0.02	日			SQ400 00  単第0 -0119 表
通水試験 ( 100 ) 管径：800mm以下 既設管で注水する	0.14	日			SQ400 00  単第0 -0120 表
通水試験 ( 給水管 ) 40	6	箇所			VSQ401 00  単第0 -0121 表
共通仮設費率分類 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....
工事原価					
一般管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正.....  対象額合計... 処分費.....

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額...
一般管理費計					
** 工事価格計 **					
** 消費税相当額計 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 請負工事費計 **					

# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009











# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0006 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,575.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=28 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

管路埋戻  
BH投入・タンバ締固め

SQ006  
クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)

単第0 -0007 表

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3(平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	7.6	時間			単第0-0003 表
タンバ運転(賃料) 質量 60~80kg	3	日			単第0-0008 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 BH投入・タンバ締固め C=3 クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)			B=1 D=3	材料別途計上 排出ガス対策型2次基準	







# 施工単価表

ダンプトラック運転  
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0011 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	32.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=32 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		B=1 D=1.29 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0013 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離1.0km以下(0.2km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

953.24000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=5 距離1.0km以下(0.2km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		















# 施工単価表

頁0 -0074

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0021 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m未満 平均厚50mm以下

1

m2 当り

機械構成比: 0.44%

労務構成比: 45.14%

材料構成比: 54.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,840.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.14%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.30%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト安定処理路盤材	49.63%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0025 TTPT00355
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.56%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0021 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m未満 平均厚50mm以下

1

m2 当り

機械構成比: 0.44%

労務構成比:

45.14%

材料構成比: 54.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,840.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 再生瀝青安定処理材 D=50 1層当り平均仕上り厚(mm) H=1 -(全ての費用)			C=1 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm以下 F=2 PK-3		
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					









# 施工単価表

基層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040242

単第0 -0026 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.01% 労務構成比: 18.46%

材料構成比: 79.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,550.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.28%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.26%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.24%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	6.30%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	4.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

基層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040242

単第0 -0026 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.01% 労務構成比:

18.46%

材料構成比: 79.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,550.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	76.29%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.85%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.35%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0027 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.18%

労務構成比:

10.92%

材料構成比: 87.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,621.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.76%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.15%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0027 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.18%

労務構成比:

10.92%

材料構成比:

87.90%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,621.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト安定処理路盤材	85.99%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚80mm		TTPCD0025 TTPT00356
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.68%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 再生瀝青安定処理材 D=40 1層当り平均仕上り厚(mm) H=1 -(全ての費用)			C=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 F=1 PK-4		
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					























































# 施工単価表

仕切弁BOX設置工【材工共】

VSB1001503

単第0 -0055 表

口径 150, 土被り 1.20, 高さ 0.95

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁用 鉄蓋 250 円形 1号 東広島市形	1	組			
レジコンクリート製マンホール 250 調整リング H=50	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 上部壁 H=150	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 350- 250 下部壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.11	人			
*** 単位当たり ***	1	箇所			





















# 施工単価表

仕切弁BOX設置工【材工共】

VSB1001003

単第0 -0066 表

口径 100, 土被り 1.20, 高さ 1.05

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁用 鉄蓋 250 円形 1号 東広島市形	1	組			
レジコンクリート製マンホール 250 調整リング H=50	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 上部壁 H=150	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=200	2	個			
レジコンクリート製マンホール 350- 250 下部壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.12	人			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

















# 施工単価表

空気弁設置工（管材費）

VSWH7301012

単第0 -0075 表

100-PE両挿-0.8（耐震補強金具含む）

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ワッパ付T字管（鋳鉄製、PEP両挿） 100×75 PEP GF形、ガasket含む	1	個			消火栓用
D C I P フランジ短管 75×100mm 7.5K GF 内面エポキシ粉体塗装	1	本			
仕切弁・空気弁・消火栓等材料 水道用補修弁（ホ-ル式）7.5K GF形 75、H=150（レバー）	1	基			
空気弁FCD製ワッパ形（7.5K） 急速空気弁 内面粉体 管径 20mm 乙	1	個			
ワッパ用ゴムパッキン（GF形1号） 75 SBR	2	枚			
ワッパ耐震補強金具 75 離脱防止性能3DKN	1	組			ホルナット含む
補修弁用ワッパ耐震補強金具 75（1次側） 離脱防止性能3DKN	1	組			ホルナット含む
補修弁用ワッパ耐震補強金具 75（2次側） 離脱防止性能3DKN	1	組			ホルナット含む
*** 単位当たり ***	1	箇所			











# 施工単価表

消火栓設置工（管材費）

VSWH7011022

単第0 -0081 表

100-PE両挿-1.2（耐震補強金具含む）

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ワソッ付T字管（鋳鉄製、PEP両挿） 100×75 PEP GF形、ガスカート含む	1	個			消火栓用
D C I P フランジ短管 75×500mm 7.5K GF 内面エポキシ粉体塗装	1	本			
仕切弁・空気弁・消火栓等材料 水道用補修弁（ホ-ル式）7.5K GF形 75、H=150（レバー）	1	基			
仕切弁・空気弁・消火栓等材料 水道用 地下式消火栓 単口	1	基			
ワソッ用コ-ムパ-ツ（GF形1号） 75 SBR	2	枚			
ワソッ耐震補強金具 75 離脱防止性能3DKN	1	組			ホ-ルナット含む
補修弁用ワソッ耐震補強金具 75（1次側） 離脱防止性能3DKN	1	組			ホ-ルナット含む
補修弁用ワソッ耐震補強金具 75（2次側） 離脱防止性能3DKN	1	組			ホ-ルナット含む
*** 単位当たり ***	1	箇所			





























# 施工単価表

仕切弁BOX設置工【材工共】

VSB1000503

単第0 -0096 表

口径 50,土被り 1.20,高さ 1.05

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁用 鉄蓋 250 円形 1号 東広島市形	1	組			
レジコンクリート製マンホール 250 調整リング H=50	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 上部壁 H=150	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=200	2	個			
レジコンクリート製マンホール 350- 250 下部壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.12	人			
*** 単位当たり ***	1	箇所			











# 施工単価表

モルタル練

SPK25040158

単第0 -0102 表

普通

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 82.04%

材料構成比: 17.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

102,720.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		







































令和7年度 開発地給水事業ほか  
八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事（2工区）

数量計算書

広島県水道広域連合企業団  
東 広 島 事 務 所

1 . DIP (GX)  $\phi$  400



## DIP(GX) φ400mm配水管 土工

## 土工集計表

項 目		タイプ別数量												単位	合計	設計数量
名 称	形状寸法	(5-5-9-15-15) 計車-未-400-1.2 L=173.0m														
		1m当り	数量	1m当り	数量	1m当り	数量	1m当り	数量	1m当り	数量	1m当り	数量			
切 断	As t=15cm以下	2.00	346.0											m	346.0	350
破 碎	As t=10cm以下	0.95	164.4											m <sup>2</sup>	164.4	160
床 掘	機 械	1.42	245.7											m <sup>3</sup>	245.7	250
真砂詰工	管天20cm迄	0.45	77.9											m <sup>3</sup>	77.9	78
埋戻工	流用土	0.48	83.0											m <sup>2</sup>	83.0	83
下層路盤	RC-40 再生切込碎石 t=15cm	0.95	164.4											m <sup>2</sup>	164.4	164
上層路盤	RM-40 再生粒調碎石 t=20cm	0.95	164.4											m <sup>2</sup>	164.4	164
路盤	フィルター層 t=5cm													m <sup>2</sup>		
路盤	RC-40 再生切込碎石 t=15cm													m <sup>2</sup>		
路盤	RC-30 再生切込碎石 t=10cm													m <sup>2</sup>		
仮復旧	密粒As t=5cm													m <sup>2</sup>		
仮復旧	密粒As t=3cm													m <sup>2</sup>		
残土処理	As (2.35t/m <sup>3</sup> )	0.05	8.7											m <sup>3</sup>	8.7	9
〃	As (2.15t/m <sup>3</sup> )													m <sup>3</sup>		
〃	土 砂	0.89	154.0											m <sup>3</sup>	154.0	150
伏越工														m		
軽量鋼矢板工	H=2.0m													m		
〃	H=2.5m													m		
支保工	2.0m以下 1段													m		
〃	3.5m以下 2段													m		

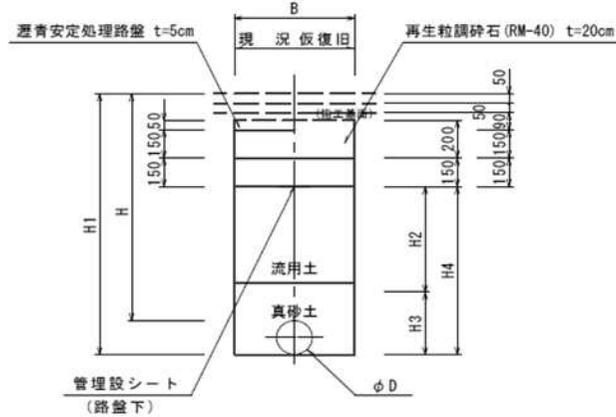


# 土工单位数量計算書(1m当り)

## 計車(5-5-9-15-15) - 未 - 400 - 1.2

計車(5-5-9-15-15) - 未 - D-H

表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調碎石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込碎石RC-40) t=150

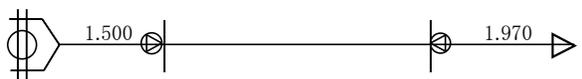
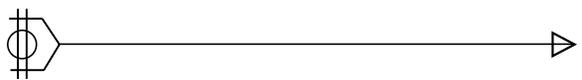
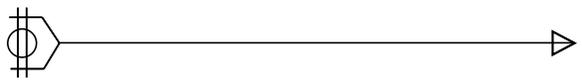
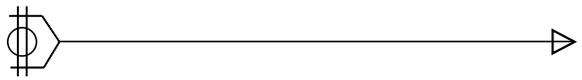
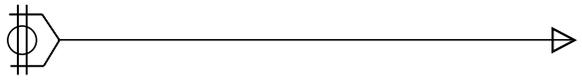
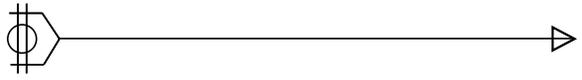
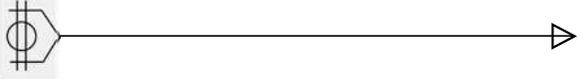


記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 400 - 1.2	400	950	1200	1630	510	630	1140	
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 150 - 1.2	150	600	1200	1380	510	380	890	
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 50 - 1.2	50	600	1200	1260	510	260	770	

工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	1.00 × 2	2.00	m
舗装版取壊	As t=5cm	1.00 × 0.95	0.95	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	1.00 × 0.95 × ( 1.63 - 0.14 )	1.42	m <sup>3</sup>
真砂詰	管径20cm 真砂土入替	0.95 × 0.63 - 1/4 × π × 0.43 <sup>2</sup>	0.45	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	1.00 × 0.95 × 0.51	0.48	m <sup>3</sup>
下層路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	1.00 × 0.95	0.95	m <sup>2</sup>
上層路盤	再生粒調碎石RM-40 t=20cm	1.00 × 0.95	0.95	m <sup>2</sup>
仮復旧	As t=5cm			m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	1.00 × 0.95 × 0.05	0.05	m <sup>3</sup>
〃	土砂	1.42 - 0.48 ÷ 0.9	0.89	m <sup>3</sup>
軽量鋼矢板工	H=2.0m			m
支保工	2m以下1段			m
路面復旧工				
舗装切断	As t=5cm	1.00 × 2	2.00	m
本復旧 (瀝青安定処理復旧)	車道【仮復旧部】 瀝青安定処理5cm	1.00 × 0.95	0.95	m <sup>2</sup>
〃 (瀝青安定処理復旧)	車道【影響部】 瀝青安定処理5cm	1.00 × 0.30	0.30	m <sup>2</sup>
〃 (基層復旧)	車道 基層5cm+瀝青安定処理4cm	1.00 × 3.00	3.00	m <sup>2</sup>



切管調書 (1/1) (単位長: 6.0 m)

No.	原管形式	管種	切管内容	有効長				計	残管	切断 溝切工	溝切工	GX形 挿口加工	備考
				甲切	乙切								
1	GX形	1種		平(1) 1.500	平(1) 1.970			3.470	2.530	2		2	
													
													
													
													
													
													
													
													
													
合計	(直管計上 1本)			1.500	1.970			3.470	2.530	2		2	

φ 400 DIP(GX) 布設工

名 称	形 状	単 位	数 量	算 出 式	備 考
鋳鉄管据付工	φ 400 機械	m	172.5	仕切弁 173.000 - 0.500 = 172.500	
GX形継手工	φ 400 直管部	口	29	直管 切管用直管 28 + 1 = 29	
GX形継手工	φ 400 異形管部	口	1		
栓取付工	GX形 φ 400	口	1		
栓取外し工	GX形 φ 400	口	1		
鋳鉄管切断溝切加工	φ 400 (GX)	口	2		
鋳鉄管挿し口加工	φ 400 (GX)	口	2		
仕切弁設置工	400-GX両受-1.2	ヶ所	1	(材工共)	
ホリスリーブ被覆工	φ 400	m	173.0	173.000	
ロケーティングワイヤー 設置工		m	173.0		
管理設シート工		m	173.0		
通水試験工	φ 400 給水車なし	日	0.14	173.000 ÷ 1250 m / 日 = 0.138	

2 . PEP (EF)  $\phi$  150





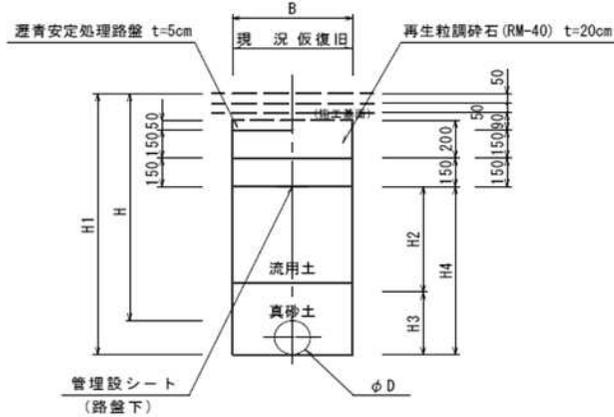


# 土工单位数量計算書(1m当り)

## 計車(5-5-9-15-15) - 未 - 150 - 1.2

計車(5-5-9-15-15) - 未 - D - H

表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調碎石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込碎石RC-40) t=150



記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 400 - 1.2	400	950	1200	1630	510	630	1140	
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 150 - 1.2	150	600	1200	1380	510	380	890	
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 50 - 1.2	50	600	1200	1260	510	260	770	

工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	$1.00 \times 2$	2.00	m
舗装版取壊	As t=5cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	$1.00 \times 0.60 \times (1.38 - 0.14)$	0.74	m <sup>3</sup>
真砂詰	管径20cm 真砂土入替	$0.60 \times 0.38 - 1/4 \times \pi \times 0.18^2$	0.20	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	$1.00 \times 0.60 \times 0.51$	0.31	m <sup>3</sup>
下層路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
上層路盤	再生粒調碎石RM-40 t=20cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
復旧	As t=5cm			m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	$1.00 \times 0.60 \times 0.05$	0.03	m <sup>3</sup>
〃	土砂	$0.74 - 0.31 \div 0.9$	0.40	m <sup>3</sup>
路面復旧工				
舗装切断	As t=5cm	$1.00 \times 2$	2.00	m
本復旧 (瀝青安定処理復旧)	車道【復旧部】 瀝青安定処理5cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
〃 (瀝青安定処理復旧)	車道【影響部】 瀝青安定処理5cm	$1.00 \times 0.30$	0.30	m <sup>2</sup>
〃 (基層復旧)	車道 基層5cm+瀝青安定処理4cm	$1.00 \times 3.00$	3.00	m <sup>2</sup>

φ 150 PEP(EF) 材料集計表														
名 称	形 状	1個当り 材料延長	平面図(1) 分岐工(1)		平面図(1) 仮設管(1)						単 位	計		備 考
			数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長		数 量	布 設 長	
片受直管	PEP(EF) φ 150× 5.050	5.050	2	10.100							本	3	10.100	2 + 1(切管用) = 3本
(甲 切 管)	" (") φ 150	切管調書参照	(1)	2.000							本	(1)	2.000	
(乙 切 管)	" (") φ 150	切管調書参照	(1)	1.000	(1)	1.000					本	(2)	2.000	
片受バンド	" (") φ 150× 45°	0.620									個			
両受バンド	" (") φ 150× 45°	0.380									個			
EFチーズ	" (") φ 150× φ 150	0.500	1	0.500							個	1	0.500	
EFソケット	" (") φ 150	—	2	—	2	—					個	4	—	
ダクタイル鋳鉄管 異種管継手	GX形 φ 150	0.710	1	0.710							個	1	0.710	
挿し受片落管	GX形 φ 300× φ 150	0.605	1	0.605							個	1	0.605	
仕切弁設置工	150-PE両挿-1.2	1.020	(2)	2.040	(1)	1.020					ヶ所	(3)	3.060	
メカニカルキャップ	PEP用 φ 150 コアなし	—			1	—					個	1	—	
(二受T字管I寸法)	GX形 φ 400× φ 300	0.285	(1)	0.285							個	(1)	0.285	
(EFチーズH寸法)	φ 150× φ 150	0.400			(1)	0.400						(1)	0.400	
		延長計		17.240		2.420					m		19.660	
		(PEP(EF))		(15.640)		(2.420)							(18.060)	
		(DIP(GX))		(1.600)									(1.600)	
異形管用接合部品	φ 300(GX)		1								個	1		
異形管用接合部品	φ 150(GX)		1								個	1		
管明示テープ	管延長			ポリエチレン管のみ 15.640		2.420					m	18.1	18.060	18.060/20m=0.90巻
ロケーティングワイヤー	管延長			17.240		2.420					m	19.7	19.660	
管埋設シート	水平長			17.240		2.420					m	19.7	19.660	19.660/50m=0.39巻

切管調書

(単位長: 5.05 m)

No.	原管形式	管種	切管内容	有効長						計	残管	切断工	備考
				甲切	乙切								
1	EF片受	PEP		分岐工(1) 2.000	分岐工(1) 1.000	仮設管(1) 1.000				4.000	1.050	3	
計	(直管計上 1本)			2.000	2.000					4.000	1.050	3	

φ 150 PEP(EF) 布設工					
名 称	形 状	単 位	数 量	算 出 式	備 考
ポリエチレン管据付工	PEP(EF) φ 150	m	15.0	ポリエチレン管 仕切弁 18.060 - 3.060 = 15.000	
ポリエチレン管継手工	PEP(EF) φ 150 (融着接合)	口	13	直管 チーズ ソケット 3 +( 1 + 4 )× 2 = 13	
ポリエチレン管切断工	φ 150	口	3		
鋳鉄管据付工	φ 150 機械	m	1.6	鋳鉄管 1.600	
GX形継手工	φ 300 異形管部	口	1		
GX形継手工	φ 150 異形管部	口	1		
ポリエチレン管 メカニカル継手工	φ 150	口	1	メカキャップ 1	
仕切弁設置工	150-PE両挿-1.2	ヶ所	3	(材工共)	
ポリスリーブ被覆工	φ 150	m	5.6	鋳鉄管 仕切弁 メカキャップ ( 1.600 + 3 + 1 )× 1.0 m/ヶ所 = 5.600	
ロケーティングワイヤー 設置工		m	19.7		
管理設シート工		m	19.7		
通水試験工	φ 150 給水車なし	日	0.02	19.660 ÷ 1250 m / 日 = 0.016	

3 . PEP (EF)  $\phi$  100







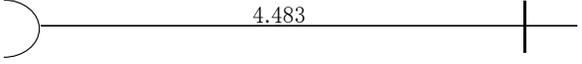
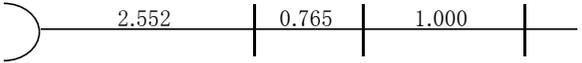
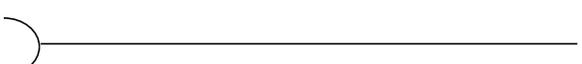
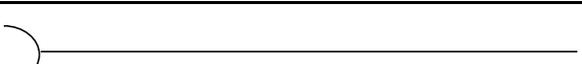
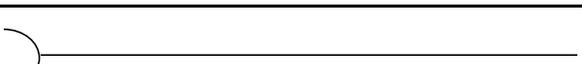
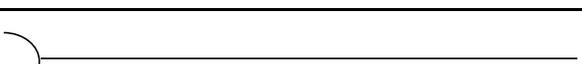
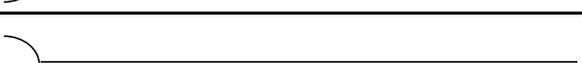




φ100 PEP(EF) 材料集計表														
名 称	形 状	1個当り 材料延長	平面図(2) Bルート								単 位	計		備 考
			数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長		数 量	布 設 長	
片受直管	PEP(EF) φ100×5.050	5.050	32	161.600							本	34	161.600	32 + 2(切管用) = 34本
(甲 切 管)	" (") φ100	切管調書参照	(2)	7.035							本	(2)	7.035	
(乙 切 管)	" (") φ100	切管調書参照	(2)	1.765							本	(2)	1.765	
片受ベンド	" (") φ100×45°	0.490	1	0.490							個	1	0.490	
片受ベンド	" (") φ100×22 1/2°	0.390	1	0.390							個	1	0.390	
両受ベンド	" (") φ100×45°	0.380									個			
両受ベンド	" (") φ100×22 1/2°	0.280	1	0.280							個	1	0.280	
EFチーズ	" (") φ100×φ50	0.140	1	0.140							個	1	0.140	
EFソケット	" (") φ100	—	3	—							個	3	—	
仕切弁設置工	100-PE両挿-1.2 (耐震補強金具含む)	0.860	(1)	0.860							ヶ所	(1)	0.860	
空気弁設置工	100-PE両挿-0.8 (耐震補強金具含む)	0.790	(1)	0.790							ヶ所	(1)	0.790	
消火栓設置工	100-PE両挿-1.2 (耐震補強金具含む)	0.790	(1)	0.790							ヶ所	(1)	0.790	
(EFチーズH寸法)	φ100×φ100	0.300												
		延長計		174.140									174.140	
管明示テープ	管延長			174.140							m	174.1	174.140	174.140/20m=8.71巻
ロケーティングワイヤー	管延長			174.140							m	174.1	174.140	
管理設シート	水平長			174.060							m	174.1	174.060	174.060/50m=3.48巻

切管調書

(単位長: 5.05 m)

No.	原管形式	管種	切管内容	有効長					計	残管	切断工	備考
				甲切	乙切							
1	EF片受	PEP		4.483					4.483	0.567	1	
2	EF片受	PEP		2.552	0.765	1.000			4.317	0.733	3	
												
												
												
												
												
												
												
												
												
												
												
計	(直管計上 2本)			7.035	1.765				8.800	1.300	4	



4. 排水管 HIVP(TS)  $\phi$  150-  $\phi$  100











5. 排水管 HIVP(TS)  $\phi$  100- $\phi$  50





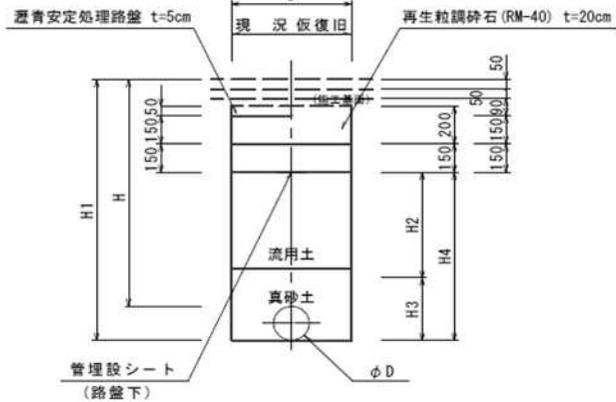


# 土工単位数量計算書(1m当り)

## 計車(5-5-9-15-15) - 未 - 50 - 1.2

### 計車(5-5-9-15-15) - 未 - D - H

表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調碎石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込碎石RC-40) t=150



記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 400 - 1.2	400	950	1200	1630	510	630	1140	
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 150 - 1.2	150	600	1200	1380	510	380	890	
計車(5-5-9-15-15) - 未 - 50 - 1.2	50	600	1200	1260	510	260	770	

工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	$1.00 \times 2$	2.00	m
舗装版取壊	As t=5cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	$1.00 \times 0.60 \times (1.26 - 0.14)$	0.67	m <sup>3</sup>
真砂詰	管径20cm 真砂土入替	$0.60 \times 0.26 - 1/4 \times \pi \times 0.06^2$	0.15	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	$1.00 \times 0.60 \times 0.51$	0.31	m <sup>3</sup>
下層路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
上層路盤	再生粒調碎石RM-40 t=20cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
仮復旧	As t=5cm			m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	$1.00 \times 0.60 \times 0.05$	0.03	m <sup>3</sup>
〃	土砂	$0.67 - 0.31 \div 0.9$	0.33	m <sup>3</sup>
路面復旧工				
舗装切断	As t=5cm	$1.00 \times 2$	2.00	m
本復旧 (瀝青安定処理復旧)	車道【仮復旧部】 瀝青安定処理5cm	$1.00 \times 0.60$	0.60	m <sup>2</sup>
〃 (瀝青安定処理復旧)	車道【影響部】 瀝青安定処理5cm	$1.00 \times 0.30$	0.30	m <sup>2</sup>
〃 (基層復旧)	車道 基層5cm+瀝青安定処理4cm	φ400で計上する		m <sup>2</sup>





排水管 φ50 HIVP(TS) 布設工

名 称	形 状	単 位	数 量	算 出 式	備 考
塩ビ管据付工	φ50	m	4.4	塩ビ管 4.390	
塩ビ管継手工	φ50 TS	口	7	エルボ 4 × 2 - 卷末 1 = 7	
塩ビ管切断工	φ50	口	4		
ポリエチレン管据付工	PEP(EF) φ50	m	0.3	ポリエチレン管 仕切弁 1.020 - 0.680 = 0.340	
ポリエチレン管継手工	φ50 (融着接合)	口	2	ソケット 1 × 2 = 2	
ポリエチレン管 メカニカル継手工	φ50	口	2	メカソケ(PEP側) メカキャップ 1 + 1 = 2	※仮設排水管については、既設の配管をそのまま利用して設置するため、メカキャップの手間のみ計上する。
鋳鉄継手工 (メカニカル形)	φ50	口	1	メカソケ(VP側) 1	
仕切弁設置工	50-PE両挿-1.2	ヶ所	1	(材工共)	
仕切弁BOX設置工	再利用設置 H=650	ヶ所	1	(手間のみ)	
ポリスリーブ被覆工	φ50	m	3.0	仕切弁 メカソケ メカキャップ ( 1 + 1 + 1 ) × 1.0 m/ヶ所 = 3.000	
ロケーティングワイヤー 設置工		m	5.4		
管理設シート工		m	4.0		
コンクリート取壊し復旧工		ヶ所	1		

## 6. 給水管

















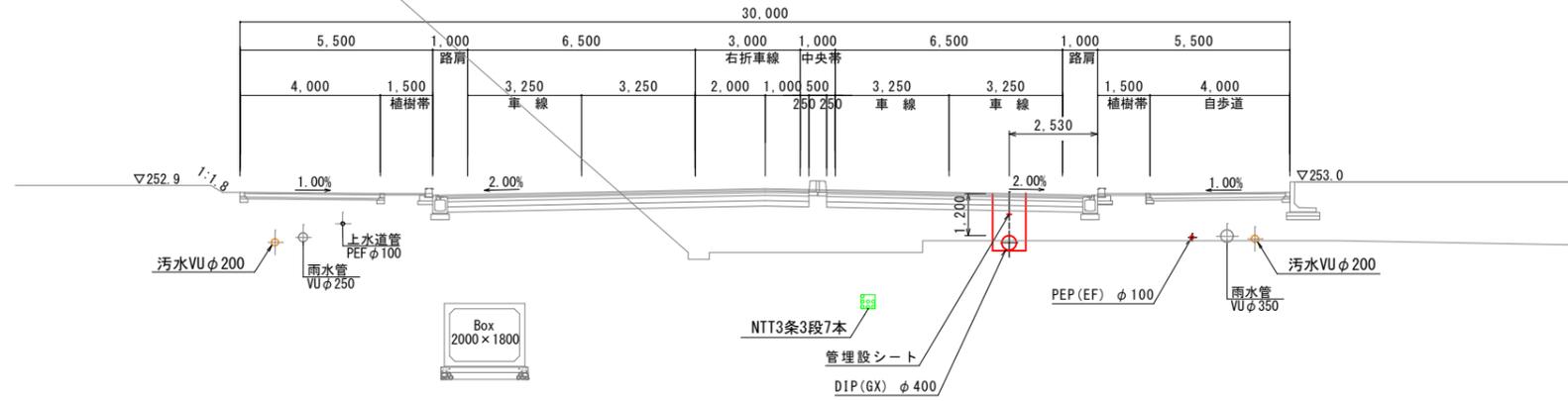




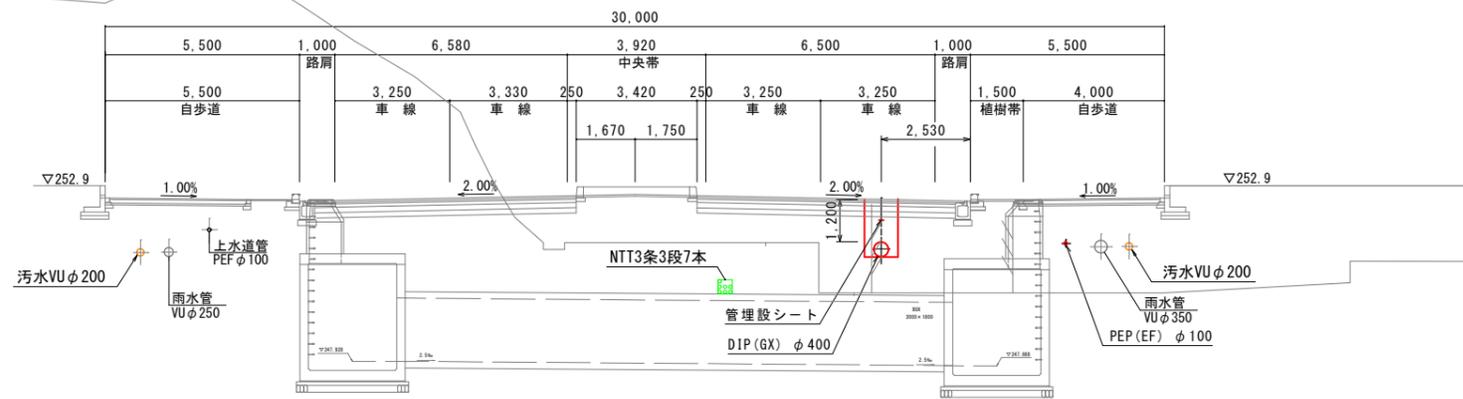
# 横断図(1) S=1/100

Aルート

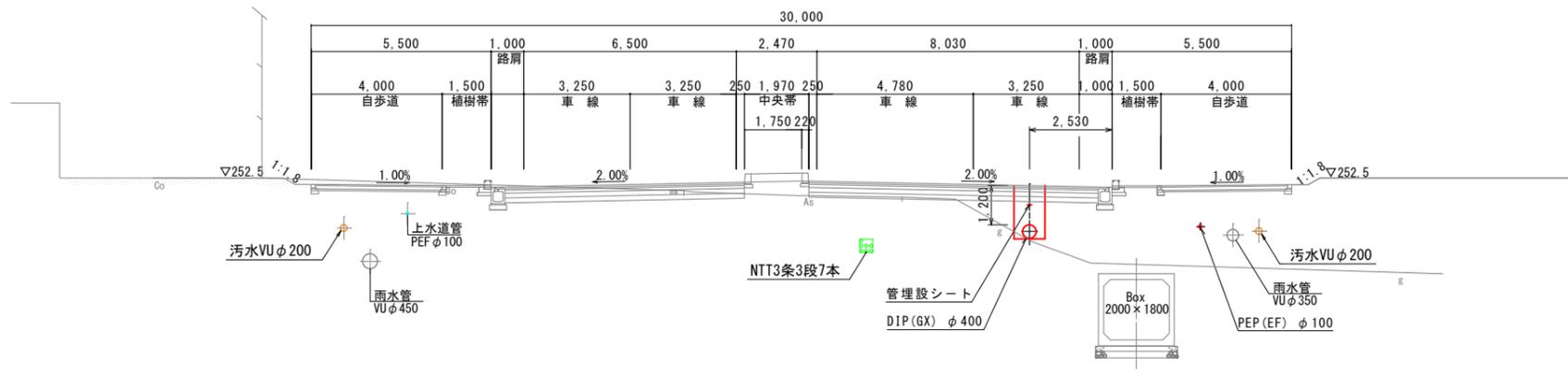
ANO. 3



ANO. 2



ANO. 1



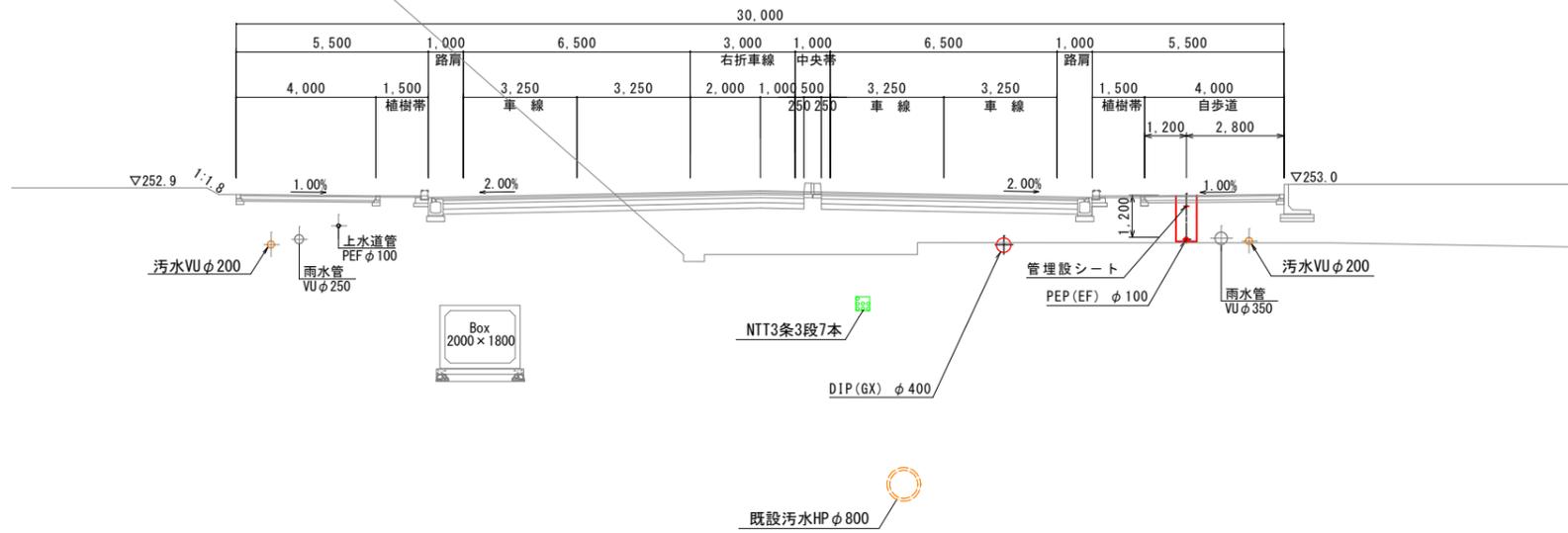
## 積算参考図

図面番号	1/4	縮尺	1/100
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	横断図(1)		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

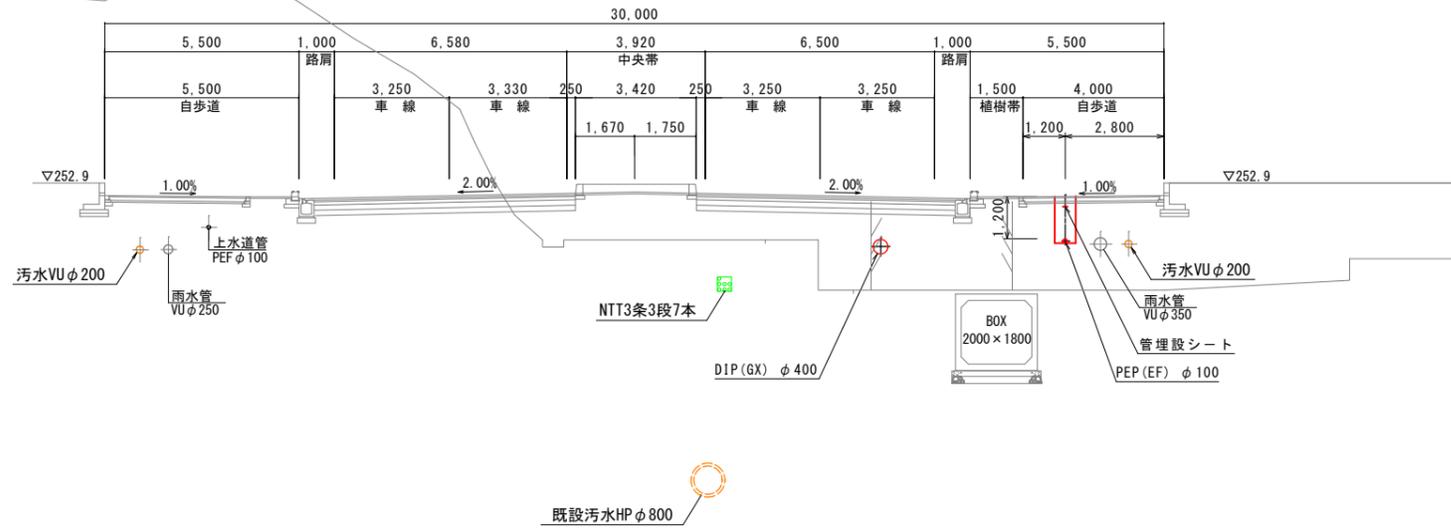
# 横断図(2) S=1/100

Bルート

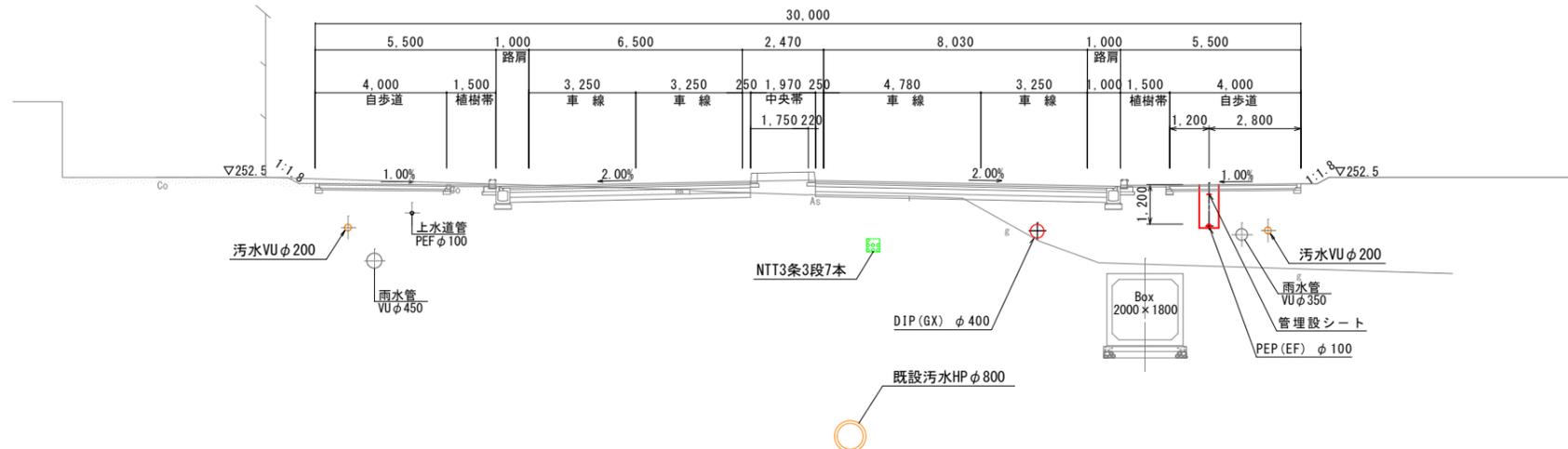
BNO.3



BNO.2



BNO.1



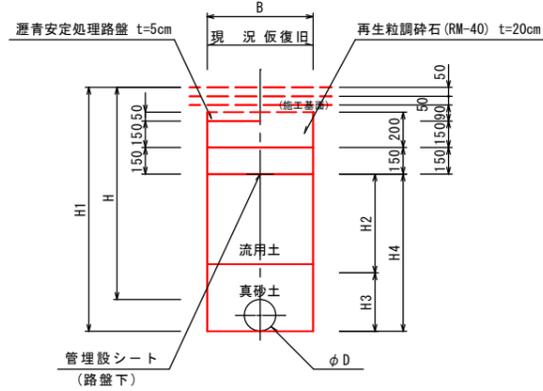
## 積算参考図

図面番号	2/4	縮尺	1/100
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	横断図(2)		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

# 標準床掘断面図 S = 1 / 2 0

計車(5-5-9-15-15) - 未-D-H

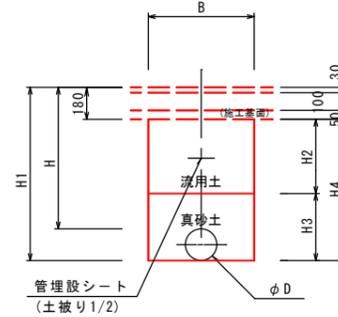
表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調砕石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込砕石RC-40) t=150



記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計車(5-5-9-15-15) - 未-400-1.2	400	950	1200	1630	510	630	1140	
計車(5-5-9-15-15) - 未-150-1.2	150	600	1200	1380	510	380	890	
計車(5-5-9-15-15) - 未-50-1.2	50	600	1200	1260	510	260	770	

計歩(3-10-5) - 未-D-H

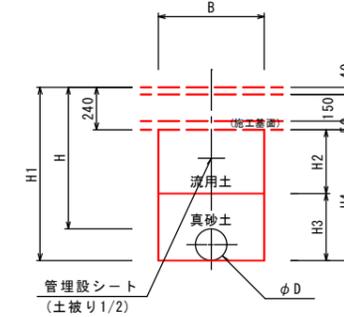
表層(再生開粒度アスコン) t=30  
 路盤(再生切込砕石RC-30) t=100  
 フィルター層(遮断層用砂) t=50



記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(3-10-5) - 未-100-0.8	100	600	800	930	420	330	750	
計歩(3-10-5) - 未-100-1.2	100	600	1200	1330	820	330	1150	
計歩(3-10-5) - 未-100-1.2	100	600	1200	1320	820	320	1140	排水管

計歩(4-15-5) - 未-D-H

表層(再生開粒度アスコン) t=40  
 路盤(再生切込砕石RC-40) t=150  
 フィルター層(遮断層用砂) t=50

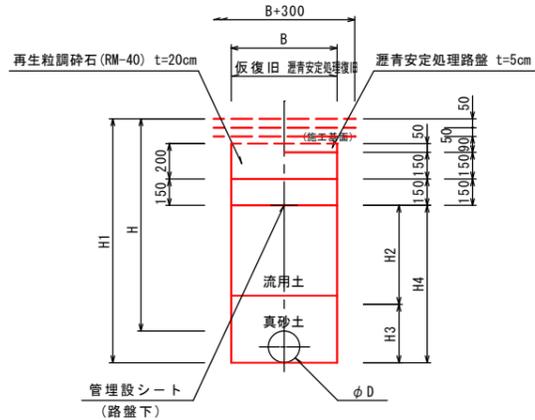


記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(4-15-5) - 未-100-1.2	100	600	1200	1330	760	330	1090	
計歩(4-15-5) - 未-50-1.2	50	600	1200	1260	760	260	960	

舗装本復旧工【瀝青安定処理復旧】

表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調砕石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込砕石RC-40) t=150

【瀝青安定処理復旧】  
 瀝青安定処理路盤 t=50

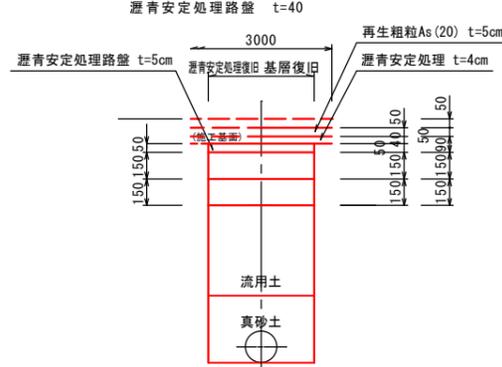


記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計車(5-5-9-15-15) - 未-400-1.2	400	950	1200	1630	510	630	1140	
計車(5-5-9-15-15) - 未-150-1.2	150	600	1200	1380	510	380	890	
計車(5-5-9-15-15) - 未-50-1.2	50	600	1200	1260	510	260	770	

舗装本復旧工【基層復旧】

表層(再生密粒度アスコン) t=50  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 上層路盤(瀝青安定処理路盤) t=90  
 上層路盤(再生粒調砕石RM-40) t=150  
 下層路盤(再生切込砕石RC-40) t=150

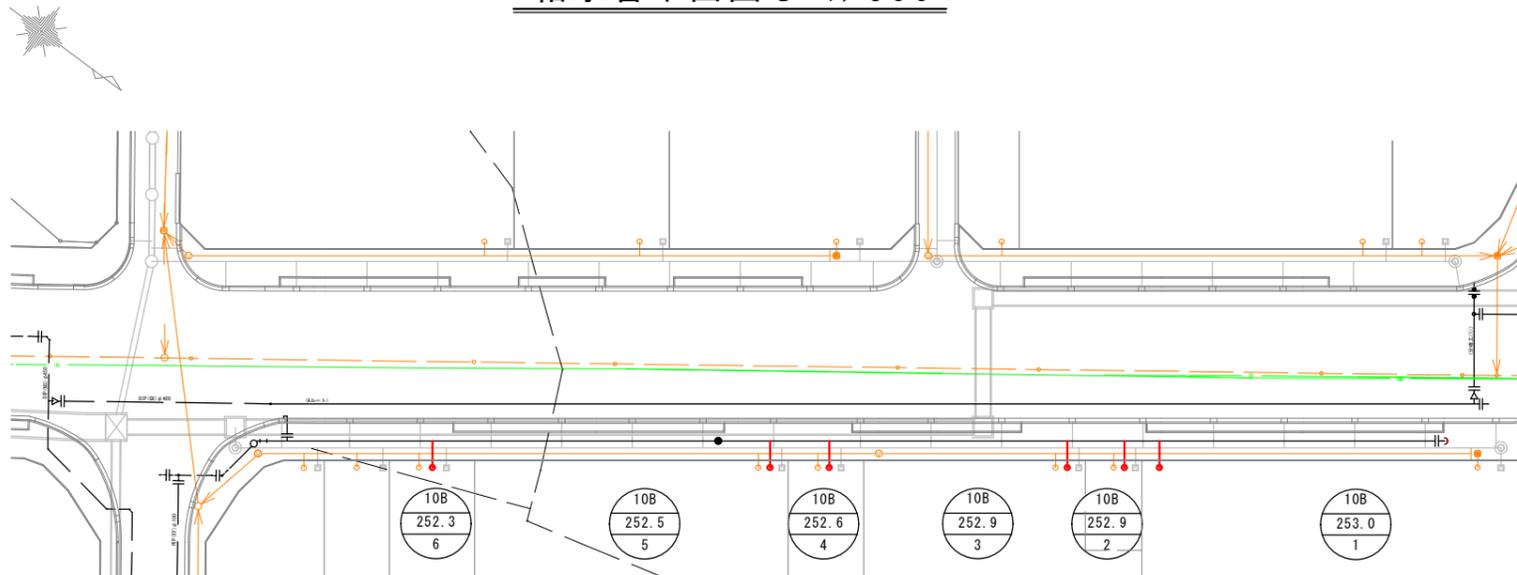
【基層復旧】  
 基層(再生粗粒度アスコン) t=50  
 瀝青安定処理路盤 t=40



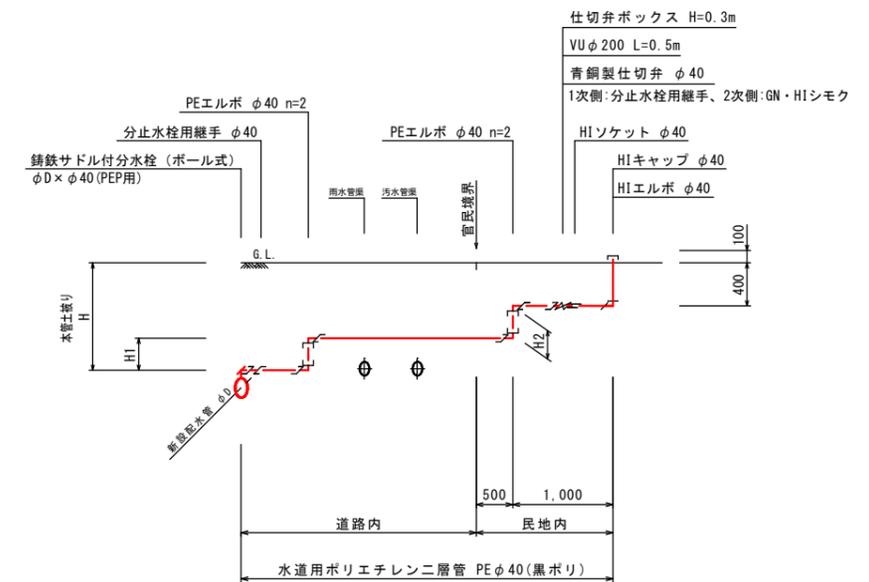
## 積算参考図

図面番号	3/4	縮尺	1/20
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	標準床掘断面図		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

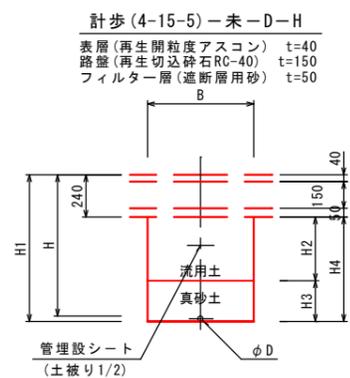
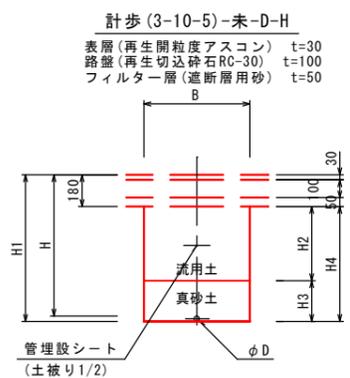
給水管平面図 S=1/500



給水管標準図 S=FREE



給水管標準床掘断面図 S=1/20

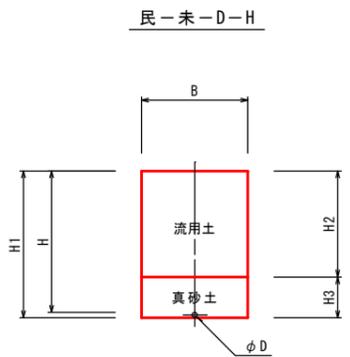


記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(3-10-5)-未-40-0.8	40	600	800	850	420	250	670	
計歩(3-10-5)-未-40-1.2	40	600	1200	1250	820	250	1070	

記号	D	B	H	H1	H2	H3	H4	備考
計歩(5-10-15)-未-40-0.8	40	600	800	850	360	250	610	
計歩(5-10-15)-未-40-1.2	40	600	1200	1250	760	250	1010	

ルート	本管口径	宅地NO.	鎖鉄サドル付分水栓 (ポール式)	水道用ポリエチレン二層管 PE (黒ポリ)	分止水栓用継手 (WSA規格)	PEエルボ (WSA規格)	耐衝撃性強化ビニル管 HIVP	HIソケット	HIエルボ	HIキャップ	青銅製仕切弁 (流用土埋設時)	仕切弁ボックス	VU	管理設シート	砂子(グラウト)	H	H1	H2	備考
			φ100×φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	φ40	H=300	φ200×0.3m	(m)	(m)			
B	φ100	10B-1	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-2	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-3	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-4	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-5	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		10B-6	1	4.00 (4.30)	1	4	0.30 (0.80)	1	1	1	1	1	1	2.80	4.30	1.20	0.40	0.40	
		計	6	24.00 (25.80)	6	24	1.80 (4.80)	6	6	6	6	6	16.80	25.80					

ルート	本管口径	宅地NO.	土工延長								備考		
			計歩(3-10-5)-未-40-0.8	計歩(3-10-5)-未-40-1.2	計歩(4-15-5)-未-40-0.8	計歩(4-15-5)-未-40-1.2	民-未-40-0.4	民-未-40-0.8					
B	φ100	10B-1		2.30		0.50					1.00	0.50	
		10B-2					2.30			0.50	1.00	0.50	
		10B-3					2.30			0.50	1.00	0.50	
		10B-4					2.30			0.50	1.00	0.50	
		10B-5					2.30			0.50	1.00	0.50	
		10B-6					2.30			0.50	1.00	0.50	
		計	2.30		0.50		11.50		2.50	6.00	3.00		



記号	D	B	H	H1	H2	H3	備考
民-未-40-0.4	40	600	400	450	200	250	
民-未-40-0.8	40	600	800	850	600	250	

積算参考図

図面番号	4/4	縮尺	図示
工種	令和7年度 開発地給水事業ほか 八本松駅前土地区画整理地区配水管布設工事(2工区)		
種別	給水管平面図・給水管標準図 給水管標準床掘断面図		
工事箇所	東広島市八本松町飯田、原		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			